

公然ナルコトヲ必要トセサレトモ説教者及其ノ信者ニ對シテハ暴行脅迫ノ手段ニ出テタルヲ要ス然レトモ公然ノ説教若クハ禮拜ニ係ルトキハ暴行脅迫ノ手段ヲ用ヒサルモ尙ホ本罪ヲ構成スルコトアルヘシ

刑罰

一、公然不敬ノ所爲アル者

二圓以上二十圓以下ノ罰金

二、説教又ハ禮拜ヲ妨害シタル者

四圓以上四十圓以下ノ罰金

(二百六十三條)

死屍ヲ毀棄シ墳墓ヲ發掘スル罪

此犯罪ノ物體ハ死屍及墳墓ナリ

死屍トハ一般ニ人ノ遺骸ヲ云フモノナリ而シテ法律上之ヲ二様ニ區分セサルヘカラス(一)埋葬スヘキ死屍ニシテ未タ埋葬セサル遺骸(二)既ニ埋葬シタル遺骸是レナリ此ノ二者ノ區別ニ由リ其適用スル刑罰ニ差アリトス一ノ注意スヘキ

ハ既ニ埋葬シタル死體及其骨片若クハ火葬シタル遺骨若クハ頭髮ヲ毀害シ或ハ截斷スルハ死屍ノ毀棄罪ニ問フヲ得ス何トナレハ是等ノモノハ既ニ埋葬シ終リタル死屍ナルカ或ハ埋葬スヘキ死屍ニ非サルカ何レカ其一ニ屬スレハナリ

墳墓トハ人ノ死體ヲ永遠ニ安置セル場所ヲ云フ故ニ左ノ三件ニ注意セサルヘカラサルナリ

一、人ノ死體ヲ埋葬セサルモノハ墳墓ニ非ス故ニ彼ノ猫塚ノ如キ若クハ犬塚ノ如キハ墳墓ニ非サルナリ

二、現ニ死體ヲ安置セサルモノハ墳墓ニ非ス即チ名譽ノ爲メニ建設シタル石碑又ハ未タ死亡セサル前ニ建設セル壽碑ノ如キモノニシテ例ハハ谷中ニ在ル加藤清正ノ碑ノ如キ現ニ清正ノ死體ヲ安置シタルニ非サルヘケレハ是レ墳墓ニ非サルナリ又比翼連理ノ塚ノ如キモ然ラン

三、永遠ニ安置シタルニ非サルモノハ墳墓ニ非ス彼ノ一時佛前ニ供シテ焼香ヲ爲シ或ハ導師ノ回向ヲ爲スカ如キ實ニ一時ノモノニ過キサレハ是レ墳墓ニ

非サレナリ併シ彼ノ新聞ニ廣告シアル假埋葬ノ如キハ名義コソ假ナレ其埋葬ノ當時ニハ改葬スルトノ意アルニ非サレハ永久ニ安置スルノ心ニテ埋ルナリ故ニ之ヲ發掘スルトキハ罪トナルナリ

本項ノ條件ニ付テハ學者間ニ多少ノ異論アリオッペンホッフ氏ノ如キハ必要ナル一條件ト爲シベルチル氏ノ如キハ墳墓タルコトニ必要ナル條件トスルニ足ラスト云ヘリ若シ永久ナルコトヲ要セストセハ苟モ死體若クハ棺槨ノ存スル所ハ皆墳墓ナリト云ハルサヘカラサラン然ラハ隨所皆墳墓ナル乎

毀棄及發掘ノ所爲ハ總テ權利ナクシテ爲シタルコトヲ要ス故ニ法律ノ許容シタル火葬又ハ改葬ハ之ヲ此ノ犯罪ニ問フコトヲ得サルナリ學者或ハ惡意ニ出ツヘキコトヲ要スト論スルモ是レ非ナリ苟モ權利ナキ以上ハ縱令善意ナルニモセヨ此ノ罪ヲ構成スルニ充分ナリ米國ペンシルバニヤ州ノ裁判所ハ此ノ理ヲ推シテ實ニ嚴格ナル判決ヲ下シタルコトアリキ即チ妻タルモノ既ニ埋葬シタル先夫ノ遺骸ヲ改葬シタル場合ニ同裁判所ハ妻ハ夫ノ死後ニ於テ夫婦ノ關係全ク消滅スルカ故ニ妻ハ毫モ夫ノ死體ヲ左右スルノ權利ナシ故ニ改葬シタ

ル意思ノ良否ハ兎ニ角權利ナキ所爲ナレハ墳墓發掘ノ罪アリト云ヘリ夫レ然リ本罪ノ成立不成立ヲ判定スルニハ權利ノ有無ヲ其ノ標準ト爲スヘシ惡意ノ存否ハ本罪ニ必要ナラサルナリ例ヘハ親戚故舊ノ墳墓ノ傾廢ニ屬シテ苔蘚其ノ碑ヲ沒スルヲ憂ヒ慈善ノ爲メ其ノ遺骸ヲ他ノ高燥ナル地ニ移シ莊嚴ナル棺中ニ収メ葬ルカ如キ毫モ惡意アルニ非ス全ク善意タルニ相違ナキモ權利ナキ所爲ナレハ罪タルコト疑ナキナリ

刑罰

一、埋葬スヘキ死屍ヲ毀棄シタル者

一月以上一年以下ノ重禁錮二圓以上二十圓以下ノ罰金(第二百六十四條)

二、既ニ埋葬シタル墳墓ヲ發掘シテ死屍又ハ棺槨ヲ見ハシタル者

二月以上二年以下ノ重禁錮三圓以上三十圓以下ノ罰金

固リテ死屍ヲ毀棄シタル者

三月以上三年以下ノ重禁錮五圓以上五十圓以下ノ罰金(第二百六十五條)

前項二種ノ罪ノ未遂ハ未遂罪トシ處罰ス

(第二百六十六條)

皇室ニ對スル罪

皇室ニ對スル犯罪ハ其ノ性質上ニ於テハ犯罪ノ物體ニシテ在ノ位君主タルト其ノ他ノ皇族タルトノ區別ニ因リ國事犯ニ屬スルモノト常事犯ニ屬スルモノトアリ

抑立君政體タル邦國ニ於テハ在位ノ君主ハ必ス國家ノ元首タルヘキモノニシテ君主ハ即チ主權者ニシテ君主ノ名譽ハ主權者ノ名譽ナリ故ニ犯罪ノ目的ノ國事ニ關スルト否トナ問ハス苟モ一國ノ君主タルコトナ知リツ、之ヲ害スルモノアレハ其ノ所爲タル直接ニ主權者ヲ害スルノ罪ニシテ其ノ名譽ヲ損スルモノハ主權者ノ威嚴ヲ損スル不敬ノ罪ナリ假令嚴刑ヲ以テ是等ノ罪ヲ處スルモ決シテ一私人ニ對スル犯罪ト爲スコトナ得ス論者往々目的ヲ以テ此ノ罪ヲ區別シ國事ノ目的ニ出ツルモノヲ國事犯トシ其ノ他ハ盡ク之ヲ常事犯トスルトモ是レ大ナル誤謬ニシテ苟モ君主即チ主權者ヲ害スル以上ハ其ノ私怨ニ出ツルト否トナ問ハサルナリ

之ニ反シ既ニ位ヲ讓リタル君主皇后皇太子及其ノ他ノ皇族ノ如キハ在位ノ天皇ニ服從スルノ義務アルモノニシテ之ヲ主權者ト同視スルコトナ得サレハ是等ノ皇族ニ對スル犯罪ハ常事犯ニ屬スルモノトス故ニ學理上ヨリ現行刑法ヲ論スルトキハ皇室ニ對スル犯罪ハ之ヲ國事犯ニ屬スルモノト常事犯ニ屬スルモノトノ二種ニ區別セサルナ得ス

然レトモ在位ノ君主ニ對スル罪ヲ以テ國事犯トスルトキハ罪人引渡條約ニ依リ外國政府ニ對シ外國ニ逃走シタル犯者ノ引渡ヲ請求スルコト能ハサルカ如キ疑ナキ能ハスト雖モ國際法ハ各國ニ固有ナル憲法政體ノ如何ニ拘泥スルコト能ハサルヲ以テ國際法上ニ於テハ條約文ノ解釋モ自ラ其ノ方法ヲ異ニスルノミナラス又特約ヲ以テ是等ノ場合ヲ規定スルコトナ得ルカ故ニ決シテ是等ノ犯者ノ引渡ヲ請求スルコト能ハサルモノニ非サルナリ彼ノ自耳義國ノ如キハ其ノ條約文ニ明記シテ君主ニ對スル危害罪ヲ犯シタルモノハ之ヲ引渡スコト、セリ

皇室ニ對スル國事犯

皇室ニ對スル國事犯ハ在位ノ天皇ニ對シ危害ヲ加ヘ又ハ加ヘントスルノ罪及不敬ノ罪トス今之ヲ分拆説明セシニ

此ノ犯罪ノ主體タルヘキモノハ我カ天皇陛下ニ對シテ服從ノ義務アルモノ即日本人民及日本ニ滞在スル外國人ナリトス故ニ外國ニ在ル外國人外國ニ於テ此ノ罪ヲ犯スモ敢テ我カ刑法ノ問フ所ニ非スト雖モ其ノ犯人ニシテ我カ國內ニ來ルトキハ我カ刑法ヲ以テ之ヲ處斷スルコトヲ得ヘキモノトス

物體 此ノ犯罪ノ物體ハ在位ノ天皇ノ生命身體自由及名譽トス即チ

(一) 在位ノ天皇ナラサルヘカラス故ニ太上天皇三后皇太子及皇族ニ對スル罪ハ常事犯ニシテ國事犯ニ非ス又攝政ハ君主自ラ政ヲ行フ能ハサルトキ假ニ國政ヲ行フモノナルカ故ニ攝政ニ對スル罪ハ國事犯ニ非ス然レトモ皇室典範ニ依レハ攝政ハ皇室ニ限ルヲ以テ皇室ニ對スル常事犯トナルヘシ又篡位ノ君主ハ正當ノ主權者ニ非サルヲ以テ之ニ對シテ國事犯ナキモノト

ス是レ蓋シ篡位ノ君主ハ適當ナル即位及在位ノ條件ヲ有セサレハナリ即位ノ條件トハ君主ノ崩御讓位等ニ依リ當然位ニ即クヲ云フ我カ皇室典範ニ依レハ即位ノ條件ハ唯崩御ノミナリトス又在位ノ條件トハ天皇タルニ必要ナル資格ヲ云フ然レトモ騷亂ノ際實力ヲ以テ此ノ地位ヲ得正當ノ君主トナリ其ノ權力ヲ實行スルモノハ此ノ限ニ在ラス

(二) 此ノ種ノ犯罪ハ天皇ノ生命身體自由若クハ名譽ニ對スルモノニシテ財產ニ對スルモノハ國事犯ニ非サルナリ而シテ不敬罪ノ物體タル名譽ナルモノハ通常人ノ名譽トハ異ナルモノニシテ君主ノ君主タル地位ニ相當スヘキ威嚴尊榮ナリトス

(三) 先帝及皇族ニ對シテハ危害ノ罪ナシト雖モ不敬罪ニ至リテハ之アルモノトス即チ在位ノ天皇ニ對スル間接誹毀ナリトス

犯意 此ノ種ノ罪ヲ構成センニハ危害若クハ不敬ヲ加フルノ故意アルヲ要シ過失ニ係ル罪ヲ問ハス然レトモ古代ノ學者カ君主ニ對シ敵意ヲ挾ムコトヲ要スルトノ說ハ危害ノ罪ヲ以テ必ス國事ニ關スル目的ニ出テサルヘカラストス

ル誤謬ニ坐スルノミ但シ君主タルコトヲ知ラスシテ犯シタルモノハ故意ナキニ非スト雖モ罪トナルヘキ事實ヲ知ラサルモノナレハ(第七十七條第六項)通常ノ犯罪トシテ之ヲ罰スルノ外他ニ其ノ道ナカルヘシ

所爲 刑法ハ天皇三后皇太子ニ對シ危害ヲ加ヘ又ハ加ヘントシタルモノヲ同一ノ刑罰ニ處スルト雖モ加ヘントシタルトハ如何ナル程度ノモノナルカ或ハ未遂犯マテナモ含蓄スルヤノ疑問アリ今日學者ノ解釋ニ依レハ豫備隱謀及未遂犯ヲ含蓄スルモノトセリ

手段 犯罪ノ手段如何ニ付テモ法文ハ特ニ之ヲ規定スルコトナギテ如何ナル手段ト雖モ此ノ犯罪ヲ構成スルコトヲ得ヘシ不敬罪ノ如キモ亦必スシモ公然ノ演說刊行ノ文書等通常人ノ名譽ニ關スル犯罪ニ必要ナル手段ヲ用ヒルコトヲ要セス

刑罰

一 在位ノ天皇ニ對シ危害ヲ加ヘ又ハ加ヘントシタル者

(第一百十六條)

死刑

二 在位ノ天皇ニ對シ不敬ノ所爲アル者

三月以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

(第一百十七條)

其ノ輕罪ノ刑ニ止マルモノト雖モ仍ホ

六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

(第一百二十條)

皇室ニ對スル常事犯

皇室ニ對スル常事犯ハ在位ノ天皇ノ外其他ノ皇族ニ對シ危害ヲ加ヘ又ハ加ヘントスル罪及不敬罪ノ二種トス(第一百十六條乃至第一百十九條)而シテ其ノ犯罪ノ主體ニ付テハ別ニ記スヘキモノナク所爲及手段ニ付テハ國事犯ノ場合ト異ナルコトナシ

物體此ノ犯罪ノ物體ハ太上天皇三后皇太子及其ノ他ノ皇族トス纂位ノ君主ノ皇族及攝政ニ付テノ場合ハ皇室ニ對スル國事犯ノ場合ト同シケレハ之ヲ略ス犯意此ノ罪ヲ構成センニハ必ス危害ヲ加ヘ又ハ不敬ヲ加フルノ故意アルヲ要ス

ス然レトモ在位ノ天皇以外ノ皇族ニ對スル罪ハ前章ノ理由ニヨリ假令國事ニ關スル目的ニ出ツルモ尙ホ其ノ罪質ニ至リテハ之ヲ常事ニ屬スルモノト云ハサルヲ得ス

刑罰

一、太上天皇三后皇太子ニ對シ危害ヲ加ヘ又ハ加ヘントシタル者

死刑

(第一百十六條)

二、太上天皇三后皇太子ニ對シ不敬ノ所爲アル者

三月以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

(第一百十七條)

三、皇族ニ對シ危害ヲ加ヘタル者

死刑

(第一百十八條)

四、其危害ヲ加ヘントシタル者

無期徒刑

(同上)

其ノ輕罪ノ刑ニ係ルモノ

六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

(第一百二十條)

國家ニ對スル罪

國事犯

國事犯一般ノ性質

國事犯罪ニハ廣狹ノ二意アリ其ノ廣義ニ於テハ在位ノ天皇ニ對スル罪、朝憲ヲ紊亂スルノ罪、外國ニ對スルノ罪及公權ノ施行ニ抗拒スル罪ノ四者ヲ包含シ、狹義ニ於テハ君主ニ對スル危害ノ罪及朝憲紊亂ノ罪ヲ包含スルモノトス而シテ今茲ニ論セントスル所ノモノハ所謂狹義ノ場合ナレトモ君主ニ對スル罪ハ既ニ論シタルヲ以テ唯狹義中ノモノ即チ我カ刑法ノ以テ國事犯ト爲ス朝憲紊亂ノ場合ヲ論セントス

國事犯ニ付キ古來學者ノ下セル定義ハ其ノ數甚タ少カラスト雖モ概テ皆曖昧模糊トシテ其ノ眞意ヲ明カニスルニ足ラス偶、其ノ定義ヲ示シタルモノナレハ

昔時學者ノ曾テ與ヘタル所ノ糟粕ニシテ一モ取ルニ足ルモノナシ蓋シ此ノ犯
 罪タル頗ル複雑シテ容易ニ完全ナル定義ヲ下スコト能ハサルニ由ルヘシト雖
 モ學者概テ國法學ヲ究メス單ニ沿革ニ成リタル古來ノ成典ニ拘泥シ學理上ノ
 考察ヲ下スコトヲ務メサルニ原因スルモノト云ハサルヲ得ス余モ此ノ定義ニ
 付キ思考ヲ費シタルモ未タ確乎タルノ定説ヲ得ス學者ノ説ハ如何ニト試ミニ
 諸書ヲ繙閱シタリト雖モ一モ取ルニ足ルモノアルコトナシ唯博士クニシユキ
 氏ノ定義稍完全ナルヲ覺フノミ氏ノ定義ニ曰ク國事犯トハ國家ノ自斷權ヲ侵
 害シ以テ現存スル憲法國土ヲ變亂シ又ハ國主ノ一身ヲ犯スノ所爲ヲ云フト此
 ノ定義ノミニテハ他ノ諸説トノ區別ヲ知ル難ケレハ諸學者ノ説ト比較對照シ
 テ論セサルヘカラス

通常學者ハ國事犯ヲ以テ國家ノ存立ヲ害スルノ所爲ナリト云ヒ現世紀ノ初メ
 ニ當リ盛ニ唱道シタル所ノモノナレトモ之ヲ道理ニ照ストキハ適當ナリト云
 フヲ得ス何トナレハ國家ハ國事犯ニ依リテ消滅スルモノニ非ス唯其ノ體面ニ
 變更ヲ來スノミナレハナリ然ルニ學者其ノ説ヲ鞏固ニセントシ舊國倒レテ新

國起ル場合即チ君主政體ヲ變シテ共和政體ト爲シ又君主政體ヲ共和政體ト爲
 シタルモノヲ以テ之ヲ證スレトモ是レ政體ノ變更ニシテ新政府ハ舊政府ノ有
 シタル權利義務ヲ繼承シタルニ過キス若シ國事犯ヲ以テ學者ノ説ノ如クセハ
 暴力ヲ用ヰス平和ノ手段ニ依リ正當ニ其憲法ヲ改正變更スルトキモ常ニ新國
 生シテ舊國ノ權利義務ヲ繼承シタルモノナレハ亦國事犯ト云ハサルヲ得サル
 ニ至ルヘシ故ニ政體ノ變更ヲ以テ國家ノ存立ヲ害スルモノト爲スノ不可ナル
 ヲ知ルヘキナリ

博士フエーデル氏ノ如キハ此ノ非難ヲ免ル、カ爲メ説ヲ爲シテ曰ク暴力ニ出テ
 タル憲法ノ改正ハ必ス國家ノ一箇人タル資格ノ害スルモノニシテ此ノ一箇人
 タルノ資格ヲ害セラレ、トキハ併セテ自斷權ヲモ害セラレヘシ凡ソ國家ノ國
 家タル所以ノモノハ一箇人ノ資格ヲ有シ自ラ活動スルノ權力即チ自斷權アル
 ナリテナリ若シ其權力ナクハ國家ハ意思ナキ死物ナリ死物ノ國家豈能ク自
 ラ活動スルヲ得ヘケンヤ故ニ國家カ完全ノ意思ヲ有シ其意思ニ依リ憲法ヲ變
 更スルトキハ其自斷權ヲ害シタルモノナリト是レフエーデル氏ノ説モ尙ホ幾分

カ充分ナラサルノ點アルヲ以テ今日ノ學者ハ之ニ少シノ修正ヲ加ヘタリ
 此ノ自斷權タルヤ國家カ其ノ意思ニ從ヒ自由ニ活動スル所ノ權力ナリ故ニ國
 事犯者カ自己ノ意思ヲ以テ國家ノ意思ヲ變更シ國家ノ自由ニ動ク所ノ權力ヲ
 侵害スルハ國事犯ノ所爲タルナリ故ニ苟モ此ノ權ヲ侵害スル以上ハ必スシモ
 暴力ニ依ルヲ要セサルナリ例ヘハ内閣大臣自己ノ私意ヲ逞フシ國會ノ議決ヲ
 待タスシテ法律ヲ頒布シ之ニ實行シタル場合ノ如キハ一己人ノ私意ヲ以テ一
 般ノ意思ニ代ヘ以テ國家ノ自斷權ヲ犯シタルモノナレハ國事犯ト云ハサルヲ
 得サルナリ之ニ反シ騷亂ヲ起スモ國家ノ自斷權ヲ害セサルトキハ國事犯ト云
 フヲ得ス例ヘハ行政又ハ司法處分ノ施行ニ對シ大兵ヲ以テ之ニ抵抗シタル如
 キハ少シモ國家ノ自斷權ニ影響ヲ及ホスモノニ非サルナリ
 又憲法國土及君主ハ國家ヲ組織スルノ要素ナレハ不法ニ其一ヲ變更シタルト
 キハ國家ノ自斷權ヲ害シタルモノト云フヘシ故ニ此ノ三者ハ國家組織ニ必要
 缺クヘカラサルモノナリ然レトモ國土ニ就テハ或ル學者ハ無形人ナル國家ヲ
 組織スルニ國土ナシト雖モ組織スヘカラサルモノニ非サレハ國土ハ必要ナル

モノニ非スト云ヘリ嚴格ナル理論ヨリ考フルトキハ或ハ然ラシ然レトモ實際
 空中ニ國家ヲ構造スルコトヲ得サルヲ以テ國土モ亦國家組織ノ一要素トシテ
 論スルヲ正當ナリトス
 前定義ニ示シタル如ク國事犯ハ國家ノ自斷權ヲ害シ併セテ現存スル憲法國土
 及君主ノ一ヲ侵害スルモノナルヲ以テ自斷權ヲ害シタルノミニテ他ノ一ヲ害
 セサルトキハ狹意ノ國事犯ヲ組成セサルコトアリ例ヘハ腕力ヲ用ヒ國會ノ議
 場ヲ妨ケ或ハ脅迫ノ手段ニ依リ法律ノ制定ヲ爲サ、ラシムル如キハ充分國家
 ノ自斷權ヲ害シタルモノナレトモ現存ノ憲法ニハ如何ナル影響ヲ及ホサ、レ
 ハ狹意ノ國事犯ニ非スシテ參政權ヲ害シタル廣義ノ國事犯トハナルモノナリ
 故ニ國事犯ハ國家ノ自斷權ヲ害シ合セテ憲法國土及君主ノ一ヲ害シタルモノ
 ナラサルヘカラス

内亂ニ關スル罪

刑法第二百一十一條ニ於テ政府ヲ顛覆シ又ハ邦土ヲ僭竊シ其他朝憲ヲ紊亂スル

コトヲ目的トナシ内亂ヲ起シタル者ハ云々ト規定シタルハ是レ内亂ニ關スル
 犯罪ナリ今此ノ法文ニ從フトキハ我カ刑法ノ内亂ニ關スル罪即チ國事犯ハ政
 府ヲ顛覆シ邦土ヲ僭竊シ其ノ他朝憲紊亂ノ所爲ヲ罰スルニ非スシテ唯政府ヲ
 顛覆シ邦土ヲ僭竊シ其ノ朝憲ヲ紊亂スルコトヲ目的トシタル内亂ノ所爲ヲ罰
 スルモノ、如シ何トナレハ明カニ政府顛覆邦土僭竊朝憲紊亂ヲ目的トシテ内
 亂ヲ起シタルモノハ云々ト規定セルヲ以テナリ此ノ如ク我カ刑法ハ犯罪ノ目
 的ヨリ定義ヲ下シタレトモ既ニ汎論ニ詳述シタル如ク目的ハ各人各異ノ性質
 ナ帶フルモノニシテ各人各異ノ性質アル目的ノ異同ヲ以テ犯罪ヲ區別スルハ
 其當ヲ得タルモノニ非ス若シ夫レ單ニ法文ノ字句ニ拘泥シ目的ヲ以テ本罪ヲ
 構成スルノ要素ト解スルコトアラハ宗教改革ヲ目的ト爲シ内亂ヲ起シタルニ
 其結果タルヤ朝憲ヲ紊亂スルモ本條ニ依リテ之ヲ罰スルヲ得サルニ至ルヘク
 又現在朝憲ヲ紊亂スルモ其目的タル唯私慾ヲ遂クル爲メナルトキハ亦之ヲ國
 事犯ト爲スヘカラサルニ至ラン余カ前ニ皇室ニ對スル犯罪ヲ論スルニ際シ目
 的ノ國事ニアルト私慾ニ出ツルトナ問ハス在位ノ天皇タルコトヲ知リツ、之

ニ對シテ危害ヲ加フルモノハ即チ國家ノ主權者ヲ害スルモノナリト謂フモ亦
 同一理ト云フヘシ之ニ反シ内亂ヲ起シ兵ヲ擧グルモノアリトモ爲メニ朝憲ヲ
 紊亂シ邦土ヲ僭竊スルコトナキモノハ國事犯トシテ之ヲ罰スルヲ得ス是ヲ以
 テ朝憲ヲ紊亂スルノ目的ヲ以テ内閣大臣ヲ謀殺スルモ實際朝憲ヲ紊亂スルモ
 ノニ非サレハ國事犯トハナラサルナリ然レハ刑法第二百二十三條ニ政府ヲ顛覆
 スルノ目的ヲ以テ人ヲ謀殺シタル者ハ云々ト規定セルモ真正ノ國事犯ニ非ス
 シテ唯之ニ準シテ規定シタルニ外ナラサルナリ我カ刑法ノ如ク目的ニ隨ヒ國
 事犯ト常事犯トノ區別ヲ爲セハ彼ノ英法ニ規定スル如ク目的ハ如何ナルモ政
 府ニ對シ内亂ヲ起スモノハ總テ國事犯ナリト爲スヨリモ尙ホ不可ナル規定ナ
 リト謂ハサルヲ得ス故ニ我カ刑法ノ國事犯ヲ解釋セント欲セハ目的ナル文字
 ニ拘泥スルコト能ハサルヤ知ルヘシ
 又我カ刑法ニ政府ヲ顛覆シ邦土ヲ僭竊シ其他朝憲ヲ紊亂スルノ目的ヲ以テ内
 亂ヲ起シタル者ト規定シタレトモ内亂ハ犯罪ノ手段ニ過キササルヲ以テ此ノ手
 段ニ依リ政府ヲ顛覆シ邦土ヲ僭竊シ其ノ他朝憲ヲ紊亂スルノ所爲ハ即チ國事

犯タルナリ然レトモ内亂ノ手段ヲ用ヒ朝憲政府國土ノ一ヲ現ニ變更セハ是レト同時ニ新憲法ヲ制定スルモノナルヲ以テ法律ハ其所爲ヲ罪トシ之ヲ罰セントスルモ得ヘケンヤ故ニ法律ノ罰スル點ハ其ノ内亂ノ所爲ヲ遂クヘキ企圖ヲ罰スルニ過キサル者トス此ニ稱スル企圖トハ其ノ企圖カ直チニ朝憲ヲ紊亂スル所爲ノ未遂犯ハ即チ朝憲紊亂ノ結果ヲ發生スヘキ内亂ノ所爲ノ已遂犯ナリ而シテ現行刑法ニ於テハ全ク此ノ已遂犯ヨリ犯罪タル所爲ヲ定メタルヲ以テ其ノ法文ヲ解釋スルニ當リテハ之ヲ政府顛覆邦土僭竊其ノ他朝憲紊亂ノ結果ヲ生スヘキ内亂ノ罪トセサルヲ得サルナリ

主體 國事犯ノ主體タルヲ得ヘキモノハ日本國ニ服従スル義務アルモノニシテ皇室ニ對スル國事犯ノ主體ト少シト差異アルコトナシ

物體 國事犯ノ物體タルヘキモノハ國家ノ自斷權ナリ然レトモ此ノ自斷權ハ憲法ニ於テ始メテ其ノ形ヲ現ハスモノナレハ直接ニ被害ノ物體タルヘキモノハ朝憲ト云フヘキナリ我カ刑法ノ正條ニハ政府ヲ顛覆シ又ハ邦土ヲ僭竊シ其

ノ他朝憲ヲ紊亂スルモノハ云々ト云ヒ三種ノ場合ヲ規定シタルヲ以テ此ノ三箇ノ場合ハ互ニ相異ナル如クナレトモ政府顛覆邦土僭竊モ尙ホ朝憲紊亂ノ所爲ナレハ特ニ之ヲ記載スルノ必要アラサルヘシ然ルニ此ノ如キ規定ヲ爲シタルハ蓋立法官小説的ノ思想ヲ抱キタルヨリ生シタルナラン

犯意 内亂ノ罪ハ必スシモ惡意アルヲ要セス故意アルヲ以テ足レリトス或ル學者ハ惡意アルヲ要スト論スレトモ別ニ惡意ト稱スルニ及ハス唯憲法ヲ紊亂スルノ結果ヲ生スヘキコトヲ知ルノ意思アレハ可ナリ特ニ之ヲ惡意ト云フヲ得サルヘシ又其ノ結果ヲ知ルノ意思ナケレハ第七十七條ニ規定シタル罪トナルノ事實ヲ知ラサルモノハ云々ノ場合ニ適合シテ犯罪成立スヘキモノニ非サルナリ

所爲 内亂ノ所爲ハ戰爭一揆等ニシテ必スシモ英國法ノ如ク兵ヲ擧クルコトヲ要セス總テ國內ニ於ケル暴動ヲ指示スルモノナレトモ其ノ所謂暴動ナルモノハ有形的即チ腕力上ノ暴動ナルカ或ハ無形的ノ暴動ヲモ包含スルヤ否ヤハ學者間ニ於テ議論ノアル所ニシテオッペンホッフ氏ハ無形的ノ場合ヲモ包含スル

モノトセリ然レトモ單ニ脅迫ノミニ止ルトキハ内亂ノ所爲トハ爲サ、ルナリ
 ベルチル氏モ亦此ノ説ニ同意シテ曰ク上ヨリ爲ス暴行即チ公權ヲ濫用シ法律
 又ハ憲法ニ反シ違令命令ヲ發シテ之カ實行ヲ企ツル如キハ國事犯トナルヘキ
 ナリト例ヘハ在朝ノ大臣憲法ニ反シタル法律ヲ實行セント企テタル場合ノ如
 キチ云フナリ是レニ由リテ之ヲ觀レハ無形ノ暴行ハ有形ノ暴行ト脅迫トノ中
 間ニ存スルモノナリ然レトモヨーンシュツエー等ノ學者ハ之ニ反對シテ無形ノ
 善行ハ此ノ犯罪ヲ構成スヘキモノニ非サルコトヲ主張セリ
 我カ刑法ハ内亂ノ所爲ノミヲ以テ國事犯ト爲セハ無形ノ暴行ハ含蓄スルモノ
 ト爲スコトヲ得サレハ無形暴行ノ未遂犯罪及豫備穩謀等アリト雖モ悉ク之ヲ
 罰スルヲ得サルナリ
 又我刑法ハ必スシモ内亂ヲ起スヲ要セス内亂ノ爲メ兵器彈藥船舶金穀其ノ他
 軍備ノ物品ヲ掠奪シタルモノハ内亂ヲ起シタルモノト同視セリ(第二百二十二條)
 又第二百二十三條ニ於テ政府ヲ變亂スルノ目的ヲ以テ人ヲ謀殺シタル者ハ兵ヲ
 舉クルニ至ラスト雖モ内亂ト同シク論ストアリ然レトモ前ニ論シタル如ク假

令内亂ノ目的ニ出テストモ目的ニ依リテ犯罪ヲ定ムルコト能ハサルヲ以テ此
 ノ第二百二十三條ハ單正ナル國事犯ノ性質ヲ具備スルモノニ非サレハ特ニ之ヲ
 規定スルノ必要ヲ見サルナリ或ル學者ハ其ノ目的内亂ニ在レハ是レ亦國事犯
 ナリト云ヘリ若シ果シテ然リトセハ甚タ不都合ナル結果ヲ生スルニ至ラン何
 トナレハ法文ニ人ヲ謀殺シタルモノ云々トアル其ノ人トハ嘗ニ在朝ノ大臣ニ
 止マラサレハ政府ヲ變亂スルノ目的ニ依リ小兒ヲ謀殺シタルトキモ内亂ト云
 ハサルヲ得サルニ至レハナリ
 已遂未遂 國事犯ハ未遂ノ場合ニ於テ本刑ヲ科スルヲ以テ原則トス何トナレ
 ハ法律ハ朝憲紊亂ノ已遂ハ之ヲ罰スルコト能ハサレハナリ但シ我カ刑法ハ之
 ナ已遂ト爲スモノニ非スシテ内亂ノ所爲ヲ已遂ト爲シ之ニ制裁ヲ加フルモノ
 ナレハ別ニ未遂罪ノ正條ヲ設クルノ必要ナシ然ルニ第二百二十四條ニ於テ内亂
 ノ未遂ハ本刑ヲ科スヘキコトヲ規定シタリ故ニ我カ刑法ノ國事犯ヲ朝憲紊亂
 ト爲シ此ノ點ヨリ推考スルトキハ第二百二十四條ハ朝憲紊亂ノ未遂ナル内亂ノ
 所爲ノ未遂ニ本刑ヲ科スル者ト云フヘキナリ

豫備陰謀 國事犯ハ國家ニ對スル重大ナル犯罪ナレハ豫備穩謀ヲ罰シテ其ノ害ヲ防遏スルハ甚タ正當ニシテ各國皆同一ノ規定ニ出テタリ然レトモ我カ刑法ハ各國ト異ナリ嚴ニ失スルノ誹ヲ免レス何トナレハ刑法ノ豫備穩謀ハ朝憲紊亂ノ豫備穩謀ニ非スシテ内亂ノ所爲ノ豫備隱謀ナレハナリ是ヲ以テ朝憲紊亂ノ豫備隱謀ハ反テ之ヲ罰スルコト能ハサルノ結果ヲ生スヘシ(第二百二十五條) 共犯 内亂ノ罪ハ必スシモ多數アルヲ要スヘキモノニ非サルモ數人共犯ノ場合ニ係ラサルモノハ殆ト之ヲ絶無ト云フヘキノミナラス往々數千萬ノ共犯者アルヘキモノナルヲ以テ從ヒテ之ヲ處分スルコト甚タ困難ナリ是ヲ以テ我カ立法官ハ第二百一十一條ニ於テ特ニ共犯例ヲ設ケ其ノ困難ヲ避ケントセリ第一、首魁及教唆者第二、群集ノ指揮ヲ爲シ其ノ他樞要ノ職務ヲ爲シタル者第三、兵器金穀ヲ資給シ又ハ諸般ノ職務ヲ爲シタル者第四、教唆ニ乘シテ附加隨行シ又ハ指揮ヲ受ケテ雜役ニ供シタル者トセリ然レトモ此ノ特例ハ學理ニ準據シタルモノニ非スシテ當時西南ノ役後ニ際シ其ノ人數甚タ多クシテ困難シタルヲ想像シタルニ出タルナルヘシ殊ニ附加隨行者ヲ悉ク從犯ト爲ス時ハ酷ニ失スル

ノ憂アルヲ以テ此ノ規定ヲ爲シタルニ過キサリナリ故ニ五人或ハ六人ヨリ成立シタル共犯者ヲ處分シ現行ノ法律ヲ適用セシニハ又大ナル困難ヲ生スヘキナリ何トナレハ僅々タル數人中尙ホ首魁及補佐者ヲ定メサルヲ得サレハナリ今我カ刑法ノ共犯例ヲ再記セハ左ノ如シ

一、首魁及教唆者

死刑

二、群衆ノ指揮ヲ爲シ其他樞要ノ職務ヲ爲シタル者

無期流刑其情輕キモノハ有期流刑

三、兵器金穀ヲ資給シ又ハ諸般ノ職務ヲナシタル者

重禁獄其情輕キモノハ輕禁獄

四、教唆ニ乘シテ附加隨行シ又ハ指揮ヲ受ケテ雜役ニ供シタル者

二年以上五年以下ノ輕禁錮

此ノ如ク共犯例ヲ設ケタリト雖モ各部分ノ教唆者ニ付テハ別ニ之ヲ規定セサレハ總則ノ例ヲ適用スヘキナリ又タ國事犯全體ノ教唆者ハ首魁ト同一ニ論シ

テ別ニ之カ區別ヲナスノ必要ヲ見サルナリ
又我カ刑法ハ第二百二十七條ヲ以テ從犯ニ就キ一ノ特例ヲ設ケタリト雖モ別ニ
之ヲ論スルコトヲ要セス

數罪俱發 凡ソ内亂ノ所爲ハ一ノ所爲ノミニ非スシテ數多ノ所爲ノ集合シタ
ルモノヨリ組成スルモノナルヲ以テ其ノ各分子ナル所爲ニシテ同時ニ他罪ヲ
構成スルニ當リテハ數罪俱發シタルモノ、如キ觀アリト雖モ法律ニ於テ内亂
ノ所爲ヲ定メタル以上ハ其ノ所爲中ニ含ム所ノ所爲ハ箇々ノ別罪ヲ爲スニ非
スシテ想像的ノ數罪俱發ナリ然レハ内亂ノ所爲ニハ如何ナル所爲ヲ含ムヤハ
豫メ一定スルコトヲ得ス之ヲ知ランニハ唯普通ノ意義ニ從フテ解釋スルノ外
他ニ方法ナキモノト思惟スルナリ此ノ普通ノ意義トハ通常人ノ思考ニヨリ其
ノ所爲ハ内亂ノ所爲ニ含ムトナスカ或ハ然ラスト爲スカノ如キ方法ニ依リテ
判別スルヲ云フモノナリ是ヲ以テ如何ニ多クノ所爲ト雖モ内亂ノ所爲中ニ在
ルモノハ皆數罪俱發ト爲スヲ得ヘシ之ニ反シテ其ノ所爲カ内亂ノ所爲外ニ涉
リタルトキハ如何ニ密接シタルモノト雖モ純然タル數罪俱發ニシテ内亂ノ所

爲ト云フヘカラス例ヘハ官軍ニ抵抗シテ官兵ヲ殺シタルハ内亂ノ所爲ナレト
モ若シ戰爭中味方ノ兵ヲ斬殺スル如キハ内亂ノ所爲ト爲スヲ得ス又内亂ヲ起
シ猥リニ人家ニ放火シタル如キモ亦内亂ニ必要ナル者ニ非サルナリ故ニ是等
ハ常事犯トシテ別罪ニ問フヘキナリ

又刑法第二百二十八條ニ内亂ニ乘シテ人ノ身體財産ニ對シ内亂ノ目的ニ關セザ
ル重罪輕罪ヲ犯シタルモノハ通常ノ刑ニ照シテ重キニ從ヒテ處斷スト云ヘル
ハ即チ内亂ノ所爲中ニ入ラサルノ場合ヲ規定シタルモノニシテ此ノ理由ヲ推
ストキハ内亂ノ豫備陰謀ハ多ク内亂ノ所爲トナラス他ノ刑名ニ觸ル、モノナ
レハ數罪俱發又ハ常事犯ヲ以テ之ヲ罰セサルヘカラサルナリ例ヘハ内亂ヲ起
サントシ金錢ノ不足ヲ生シタルヲ以テ強盜ノ手段ニ依リ金錢ヲ集ムル如キ内
亂ノ所爲ニ非スシテ純然タル強盜罪ナリ何トナレハ内亂ニ要スル金錢ハ敢テ
強盜ノ手段ヲ用ヒサルモ充分集聚スルヲ得ヘケレハナリ是レ恰モ刀ヲ以テ人
ヲ殺サントシ其ノ刀ヲ盜ミタルトキハ竊盜タルト少シモ異ナルコトナシ是ヲ
以テ内亂ノ豫備陰謀ハ其所爲カ他ノ犯罪ヲ構成セサル時ニ於テ始メテ内亂ノ

豫備陰謀ノ所爲ニ包含スヘキモノトス
刑罰

一、首魁及ヒ教唆者

死刑

(第二百一十一條)

二、群衆ノ指揮ヲ爲シ其他樞要ノ職務ヲ爲シタル者

無期流刑

(同上)

三、其情輕キ者

有期流刑

(同上)

四、兵器金穀ヲ資給シ又ハ諸般ノ職務ヲ爲シタル者

重禁獄

(同上)

五、其情輕キ者

輕禁獄

(同上)

六、教唆ニ乘シテ附和隨行シ又ハ指揮ヲ受ケテ雜役ニ供シタル者

二年以上五年以下ノ輕禁錮

(同上)

七、豫備ヲ爲シタル者ハ一等ヲ減シ其豫備ニ至ラサル者二等ヲ減ス

(第二百五條)

八、内亂ノ豫備陰謀ヲ爲スト雖モ未タ其事ヲ行ハサル前ニ於テ官ニ自首シタル者ハ本刑ヲ免シ

六月以上三年以下ノ監視ニ付ス

(第二百二十六條)

九、内亂ノ情ヲ知テ犯人ニ集會所ヲ給與シタル者

二年以上五年以下ノ輕禁錮

(第二百二十七條)

外患ニ關スル罪

現行刑法ニ於テハ外患ニ關スル罪ハ外國ニ對シ交戰中ナラサレハ之ヲ組成スルモノニ非ス是レ此ノ罪ニ就テ注意スヘキ所ノ時ニ關スル一ノ區別ナリトス或ル學者ハ交戰中ナラサルモ尙ホ外患罪ヲ構成スルコトヲ得ヘキモノトスレトモ法文ニ依リ之ヲ推考スルトキハ決シテ正當ナル説ト云フヲ得ス然レトモ實際戰爭ヲ起シ彈丸ヲ飛シ劔戟ヲ弄スルノ場合ノミヲ指シタルニ非ス或ル外

國ヲ以テ敵國ト布告シタルトキハ實際戰ヲ交ヘサルモ法文ニ所謂交戰中ナル者ナリ是ヲ以テ第二百二十三條ノ私ニ外國ニ對シ戰端ヲ開キタルモノ云々ノ場合ハ交戰中ニ非サレハ真正ノ外患ニ非スシテ外國ニ對スルノ罪ナリ然ルニ我カ刑法ハ此ノ所爲ヲ以テ外患ニ關スル犯罪中ニ規定シタルハ道理ニ依リタルモノニ非スシテ單ニ便宜上ヨリ規定シタルニ外ナラサルヘシ今外患ニ關スル罪ヲ分析スレハ左ノ如シ

主體 日本人民又ハ我カ國ニ滞在スル外國人ナリ然レトモ軍人軍屬ハ陸海軍ノ刑法ニ於テ支配セラル、モノナレハ是等ノ人ニシテ此ノ犯罪ヲ犯スコトアルモ普通刑法ニ依リ處分スルコトヲ得サルナリ

物體 凡ソ主權ハ內國ニ對シテ行ハレ又外國ニ對シテ行ハル、モノナリ外患ニ關スル罪ノ物體ハ此ノ外國ニ對スル日本國ノ主權ナリトス故ニ刑法第三百十三條ノ場合ノ如キハ毫末モ日本ノ主權ヲ害スルコトナク其ノ直接ノ被害者ハ外國ノ主權者タルヲ以テ之ヲ外患ニ關スル犯罪トハ爲スコトヲ得サルナリ

刑罰

十一

一、外國ニ與シテ本國ニ抗敵シ又ハ外國ト交戰中同盟國ニ抗敵シ其他本國ニ背叛シテ敵兵ニ附属シタル者 (第二百二十九條)

死刑

二、交戰中敵兵ヲ誘導シテ本國管内ニ入ラシメ若クハ本國及同盟國ノ都府城塞又ハ兵器、彈藥、船艦其他軍事ニ關スル土地家屋物件ヲ敵國ニ交付シタル者 (第三百十條)

死刑

三、本國及ヒ同盟國ノ軍情機密ヲ敵國ニ漏泄シ若クハ兵隊屯集ノ要地又ハ道路ノ險夷ヲ敵國ニ通知シタル者及ヒ敵國ノ間諜ヲ誘導シテ本國管内ニ入ラシメ若クハ之ヲ藏匿シタル者 (第三百十一條)

無期流刑

四、陸海軍ヨリ委任ヲ受ケ物品ヲ供給シ及ヒ工作ヲ爲ス者交戰ノ際敵國ニ通謀シ又ハ其路遺ヲ收受シテ命令ニ違背シ軍備ノ缺乏ヲ致シタル時 (第三百十二條)

有期流刑

以上三項ノ罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者

六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

(第三百三十五條)

外國ニ對スル罪

日本人民及本國在留ノ外國人ハ日本國ノ主權ニ服從スルノ義務アリト雖モ外國ノ主權ニ服從スルノ義務アルコトナケレハ外國ニ對シ如何ナル舉動ヲ爲スモ國事犯トナルコトナシ然ルニ我カ刑法ニ於テ此ノ罪ヲ設定シタルハ學者ノ議ヲ避ケントスルモ能ハサル所ナリ何トナレハ日本人ノ外國ニ對シテ此ノ犯罪ヲ爲シタル時ハ我カ國之ヲ罰シ外國ノ人民我カ國ニ對シテ此ノ所爲ヲ爲スモ外國ハ其國ノ主權ヲ害スルコトナキヲ以テ之ヲ罰スルコトナカルヘケレハナリ故ニ我カ刑法ハ我カ國ニ取リテ少シモ痛痒相關セサル犯罪ヲ罰スルモノト云フヘキナリ彼ノ英國ノ首相トナリ其ノ名ヲ海内ニ轟シタルビーコンズフェーイルド侯ハ法律家ニ非サレトモビ、アングレー(侯カ英國ノ總理大臣トナルニ先タチ其ノ外交政略ヲ世人ニ示サンカ爲メ著述シタルモノ)ナル小説ヲ著ハシ其ノ小説中語ヲ親王リ、アットノ口ニ假リ己ノ當ニ奉スヘキ君主ニ非サルモノニ

十二

十三

對シテ國事犯トハ何ソヤト云ヘルハ眞ニ能ク此ノ意ヲ得タルモノト云フヘシ然レトモ特別ニ條約アルカ又ハ外國ノ刑法ニ此ノ罪ヲ規定シ相互ニ之ヲ罰スルコトヲ定メタルトキハ外國ノ告訴ニ依リ之ヲ罰スルハ敢テ不都合トセサル所ナリ彼ノ獨逸國ノ如キハ是等ノ罪ヲ和親國ニ對スル罪ト稱シ外國ノ君主ニ對スル不敬罪等ハ本國ノ君主ニ對スルモノヨリハ稍、輕キ刑罰ニ處スト雖モ而モ通常ノ誹毀罪等ヨリハ重キ刑罰ニ處スルカ如シ但外國ニ於テモ此ノ罪ヲ規定スル場合ニ限り之ヲ適用スルコト、セリ而シテ我カ邦ノ如キ治外法權ノ存スル今日ニ於テハ日本人民ニシテ外國ニ在リテ是等ノ罪ヲ犯シタルトキハ外國ノ法律ニ依リ處斷セラルヘキモ本邦在留ノ外國人ニシテ是等ノ罪ヲ犯スモ我カ刑法ニ依リ之ヲ處斷スルヲ得ス
我カ刑法ハ外國ニ對スル二箇ノ犯罪ヲ認メタリ即チ第一外國ニ對シ私ニ戰端ヲ開キタル罪(第三百三十三條)第二局外中立ノ布告ニ違背シタル罪(第三百三十四條)是レナリ
主體 此ノ犯罪ノ主體ハ一私人タル日本人又ハ本國在留ノ外國人ナリ故ニ日

本政府ハ此ノ犯罪ノ主體トナルヲ得ス若シ日本政府ニシテ外國ニ對シ戰端ヲ開キタルトキハ公法上ノ戰爭ニシテ外國ニ對スルノ犯罪ニ非サルナリ

物體 外國ノ主權ハ此ノ犯罪ノ被害物體ナリ然レトモ我カ刑法ノ如ク此ノ罪ヲ定メタルトキハ法律ニ背反スルノ所爲ト謂フヲ得ヘキモ我カ國ノ主權ヲ害シタルモノニ非サレハ國事犯トナルコトナシ

刑罰

- 一、外國ニ對シ私ニ戰端ヲ開キタル者 (第三百三十三條)
- 二、外國交戰ノ際本國ニ於テ局外中立ヲ布告シタル時其布告ニ違背シタル者

六月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス (第三百三十四條)

三、本罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者 六月以上二年以下ノ監視ニ付ス (第三百三十五條)

官權ノ執行ニ抗スル罪

官吏ノ職務ヲ行フヲ妨害スル罪

現行刑法ノ規定ニ依レハ官吏ノ職務執行ヲ妨害スル罪ヲ分チテ二トス即チ(一)抗命ノ罪(二)官吏侮辱ノ罪是レナリ

抗命ノ罪

刑法第二百二十九條ノ明文ニ依レハ此ノ抗命ノ罪ハ官吏其ノ職務ヲ以テ法律規則ヲ執行シ又ハ行政司法官署ノ命令ヲ執行スルニ當リ暴行脅迫ヲ以テ之ニ抗

命(第三百三十九條)又ハ暴行脅迫ヲ以テ其ノ官吏ノ爲スヘカラサルコトヲ行ハシムルモノモ亦同シ(同第二項)ト規定セラレタリ余ハ例ニ依リ官吏ノ職務執行ニ關スル犯罪構成ノ條件ヲ左ニ説明セン

主體 何人ト雖モ法律上ノ能力ヲ有スルモノハ本罪ノ主體タルニ妨ナシ故ニ此ノ罪ノ犯人ハ法律又ハ命令ノ執行ヲ受クル人ノミナラス第三者ニテモ其ノ抗命ノ事實ニシテ存在スル場合ニハ抗命ノ罪ニ關スル主體タルヲ得ヘシ

物體 此罪ノ物體ハ國家ノ執行權ナリ故ニ官吏ニ抗拒スル罪ハ其ノ官吏カ職務ノ執行中即チ法律命令ヲ執行スル場合ニシテ正當ニ官吏タルノ職分ヲ有スル時ナラサルヘカラス左レハ其ノ人官吏ニ非サルカ或ハ官吏ノ執行スル所法律命令ニ背反フルカ又ハ抗拒ニシテ法律命令ノ執行中ニ非スシテ其ノ前後ナル場合ニ在リテハ抗命ノ罪ハ決シテ成立スルモノニ非ス然レトモ官吏ノ行フ所其ノ職務ヲ超ヘ又ハ其ノ處分ノ不正ナル場合ニ於テハ其ノ所爲苟モ官民共ニ了知スヘキ法律規則ニ反シタルモノナレハ素ヨリ此ノ犯罪ヲ組成スヘシトハ汎論ヲ參照セハ自ラ明晰ナラン

茲ニ一言注意スヘキハ法律命令ヲ執行スルニ際シ官吏ハ法律ノ精神ナリト思考シ又人民ハ官吏ノ執行スル所ハ法律ニ背キタルモノト思考シタル場合ニハ如何スヘキヤ官吏ハ自己ノ責任ヲ以テ執行シ人民モ亦自己ノ責任ヲ以テ抗命シ判決後官吏ノ執行ハ果シテ正當ナルモノナルトキハ人民ハ抗命ノ罪ヲ受ケ若シ又官吏ノ執行ハ法律ノ精神ニアラサル場合ハ人民ハ抗命ノ罪ヲ免レ官吏ハ不法處分ノ責任ヲ負ハサルヘカラサルモノトス

手段 抗命ノ手段ハ必ス暴行脅迫ヲ以テ官權ノ執行ニ妨害ヲ加ヘタルモノナルヲ要ス而シテ此ノ暴行脅迫ハ必ス官吏ノ一身ニ對シテ加ヘタルモノナラサルヘカラス故ニ巡查カ現行犯ヲ捕縛セントスルニ當リ逃走スルカ如キハ官吏ノ命令ニ從ハサルニ相違ナキモ暴行脅迫ノ手段ヲ加フルコトナキヲ以テ此罪ヲ組成スルコトナシ

所爲 抗命トハ官吏ノ執行スル命令處分ニ服從セサル所爲ヲ云フ故ニ官吏ニ對シテ暴行脅迫ヲ加フルモノ之ニ抗拒スルコトナク謹テ之ニ服從シタルトキハ此ノ罪ナク只常人ニ對スル暴行脅迫罪タルニ過キサルヘシ

然ルニ日本刑法第三百三十一條第二項ニハ一種ノ抗命罪ヲ定メテ官吏ノ爲スヘ
 カラサル事件ヲ暴行脅迫ヲ以テ爲サシメタルトキハ亦同シク此ノ犯罪トシテ
 罰スルコト、セリ然レ法文曖昧ニシテ大ニ明晰ヲ缺クト雖モ蓋シ此ノ項ノ適
 用ハ只暴行脅迫ニシテ未タ抗拒スヘカラサル強制ト云フヘキノ甚タシキニ至
 ラス又官吏ノ行ヒタル事件ニシテ他ノ犯罪ヲサルトキニ限ルヘシ何トナレ
 ハ抗拒スヘカラサル強制ニ由リ官吏ニ犯罪ヲ爲サシメタルモノハ自ラ其ノ罪
 ナ犯シタルモノニシテ其ノ罪ニ問フヘキモノナレハナリ

刑罰

一、暴行脅迫ヲ以テ其官吏ニ抗拒シタル者及ヒ暴行脅迫ヲ以テ其官吏ノ爲ス可
 カラサル事件ヲ行ハシメタル者

五圓以上五拾圓以下ノ罰金

(第三百三十九條)

二、官吏ヲ毆打シタル者ハ毆打創傷ノ本條ニ照シ一等ヲ加ヘ重キニ從テ處斷ス

(第四百十條)

官吏侮辱ノ罪

官吏侮辱ノ罪ハ官吏タルノ名譽ヲ毀損スルノ罪ニシテ現行刑法ニ於テハ官吏
 ノ職務ニ對シ履行ノ文書圖書若クハ公然ノ演說又ハ其ノ目前ニ於テ容形若ク
 ハ言語ヲ以テ侮辱スルノ所爲ヲ云フ(第四百十一條)

物體 官吏侮辱ノ物體ハ官吏ノ官吏タルノ名譽即チ公平正直ナルコト官吏タ
 ル技藝又ハ能力アルコトニシテ通常人ノ名譽トハ稍、其ノ趣ヲ異ニスルモノト
 ス例ヘハ一般ノ人ニ對シテ不公平ノ處分ヲ爲シタリト云フモ其人ノ名譽ヲ毀
 損シタルモノニ非サルモ若シ官吏ニ對シテ其ノ處分ハ不公平ナリト言フモノ
 在ラハ官吏ヲ侮辱シタルモノトシテ本罪ニ問ハルヘシ何トナレハ職務ニ對シ
 テ有スル公平正直ナル名譽ヲ誹毀セラレタルモノナレハナリ又通常人ト官吏
 タル資格アルモノトニ付キ斯ル區別アル點ヲ今一層詳述スレハ通常人ニ對シ
 テ法律ヲ知ラサル人ナリト云ヒタルモ侮辱トナルコトナケレトモ若シ裁判官
 ニ向ヒテ貴官ハ法律ヲ知ラスト云フモノアラハ官吏侮辱ノ罪ヲ成立スルモノ

ナリ
 然リト雖モ官吏モ亦通常人ニ外ナラサレハ其ノ官吏ニシテ通常人ノ有スル名譽ヲ誹毀セラレタルトキハ通常人ニ對スル誹毀ニシテ官吏侮辱ノ罪トハナラサルナリ例ヘハ或ル新聞紙ニテ某官ハ曩日某宴會ニ於テ斯ノ如キ醜行アリシトテ記載スルコトアルモ通常ノ誹毀犯ニシテ決シテ官吏侮辱トシテ罰セラレハコトナカルヘシ然レトモ爰ニ注意スヘキコトハ官吏ノ職務執行中ニ通常人ノ名譽ヲ侮辱シタルトキハ通常人ニ對スル侮辱トナラスシテ官吏侮辱ノ罪トナルノ一事是レナリ蓋官吏ノ職務ヲ執行シ居ル場合ニハ官吏ノ資格ト通常人ノ資格トナ一身ニ集合シ同時ニ併有シ居ルモノナレハナリ
 手段 官吏ノ目前ニ於テ形容言語若クハ刊行ノ文書又ハ公然ノ演說等ニシテ別ニ詳述スヘキ點ナキモ只通常人ニ對スル手段ノ内ニテ偶像ハ此ノ犯罪ニ就キテ手段トシテ論スルコトナシ
 所爲 名譽ヲ毀損スヘキコトヲ第三者ニ對シテ公ニスルコトナリ故ニ名譽ノ毀損自身ハ本罪ノ所爲ニ非スシテ名譽ヲ毀損セラレ、以外ノ人ニ對シ其ノ名

譽ヲ毀損スル事實ヲ公ニスルコトヲ以テ此ノ罪ノ所爲トスルナリ是ヲ以テ直接ニ官吏ニ對シ書面ヲ送リ名譽ヲ毀損シ侮辱スルコトアルモ官吏侮辱トシテ罰スヘキニアラス又此ノ罪ハ誹毀罪ト異ニシテ惡事醜行ノ事實ヲ摘發スルコトヲ要ス何トナレハ事實ノ有無ヲ問ハサルモノナレハナリ是レ法文ノ特ニ之ヲ明記セサル所以ナリ

刑罰

一、官吏ノ職務ニ對シ其目前ニ於テ形容若クハ言語ヲ以テ侮辱シタル者
 一月以上一年以下ノ重禁錮五圓以上五十圓以下ノ罰金

(第四百一條)

二、其目前ニアラサルモ文書圖書又ハ公然ノ演說ヲ以テ侮辱シタル者亦同シ

(第四百一條)

囚徒逃走ニ關スル罪

既ニ汎論ニ述ヘタル如ク已決ノ囚徒ニ對シテハ法律ハ決シテ刑ノ執行ヲ受ク

ルノ義務ヲ負ハシムヘキモノニ非スシテ刑ハ法律終局ノ制裁ニ外ナラサルナ
 リ若シ夫レ已決ノ囚徒ニ此ノ義務ヲ負ハシメンカ是レ即チ法律ノ制裁ニ法律
 ノ制裁ヲ以テスルモノニシテ法律ノ制裁ハ果シテ何レノ處ニ至リ結局スヘキ
 カ知ルヘカラサルハ勿論遂ニ法律執行ノ實効ヲ見ルコト能ハサルニ至ルヘシ
 此ノ已決囚徒ノ逃走スル罪ノ如キモ亦法律ノ制裁ニ法律ノ制裁ヲ以テスルカ
 如キ嫌ナキニ非ス但シ囚徒逃走ニ關スル罪ノ成立スルニハ逃走ノ囚徒ノ外他
 人ニシテ囚徒ヲ逃走セシメ若クハ其ノ逃走ヲ幫助シ又ハ已決ノ囚徒ニ在リテ
 ハ獄舎ヲ破毀シ其ノ他暴行ノ手段ヲ以テ法律ノ執行ニ抗拒シタル場合ニ限ル
 ナリ因リテ看守ノ獄舎ヲ閉鎖スルコトヲ怠リ開扉シタルニ乘シテ囚徒ノ逃走
 スルコトアルモ本罪ニ問フヘキニ非ス何トナレハ已決ノ囚徒ハ必ラス刑ニ服
 スルノ義務ナケレハナリ是レ獨佛二國ノ囚徒逃走罪ヲ認メス只獄則違反トス
 ル所以ナリ然レトモ日英二國ノ法律ニ於テハ之ヲ罰スルニ囚徒逃走罪ヲ主ト
 シテ定メタルニ拘ハラヌ却ツテ從犯即チ囚徒逃走ヲ幫助シタルモノヲ罰スル
 ニ主タル逃走罪ヨリ重キ刑ヲ科スルニ至テハ余其ノ何ノ故タルヲ知ルニ苦ム

モノナリ(第四百二十二條及第四百十六條第四百十七條參照)

(主體) 已決未決ノ囚徒ニシテ法律ノ命スル所ニ從ヒ司法處分ニ依リ獄舎ニ在
 ルモノニ非サレハ此ノ罪ヲ犯スコトヲ得ス故ニ一時行政廳又ハ警察署等ニ勾
 留セラレタル者ハ本罪ノ主體即チ囚徒トシテ論スルコトヲ得ス從テ密賣淫ノ
 如キモ單ニ懲戒處分ニ過キサレハ刑法ノ所謂囚徒トスルヲ得サルナリ尤モ是
 レハ學理ニ基キ囚徒ヲ解釋シタルモノニシテ實際ハ之ニ反シテ賭博犯密賣淫
 ニ依テ懲戒處分ヲ受ケタルモノヲ以テ囚徒トシテ取扱フモノ、如シ
 此ノ犯罪ノ主體ニハ斯ク特別ノ資格ヲ要スルカ故ニ已決囚徒ノ逃走シタル場
 合ニ於テハ初犯ノ刑ニ對シ常ニ再犯タルヲ以テ我カ刑法ハ刑期限内再ヒ逃走
 シタルモノニ非サレハ再犯ヲ以テ論スルコトナシ又囚徒ヲ逃走セシムル爲メ
 ニ第四百十六條及第四百十七條ニ該ル場合ハ何人ト雖モ本罪ノ主體タルヲ得
 レトモ第四百十八條ノ如キハ看守又ハ囚徒ノ護送者ニ非サレハ犯スコトヲ得
 ス而シテ第四百十五條ナル通謀逃走罪ハ主體ハ必ス三人以上ナラサルヘカラ
 ス

物體 此ノ犯罪ノ物體ハ國家ノ刑罰執行權ナルヲ以テ囚徒逃走ノ場合ニ於テハ囚徒自ラ此ノ權ヲ犯シ囚徒劫奪又ハ逃走幫助ノ場合ニ於テハ何人ト雖モ其ノ犯者タルモ此ノ權利ヲ侵害ス

手段 本罪ノ手段ハ破獄又ハ暴行脅迫ニ出テタルトキハ其ノ刑ヲ重クス(第四百十二條第二項及第四百十七條)但シ此ノ暴行脅迫ハ逃走ノ際手段トシテ看守又ハ護送者ニ施シタルモノナラサルヘカラス

所爲 囚徒逃走罪ハ國家ノ刑罰執行權ニ抗拒スルノ所爲ナリ故ニ學理上ヨリ論スルトキハ單純ナル已決囚徒ノ逃走罪ハ國家ノ執行權ニ對シテハ毫モ抗拒ノ所爲ナキモ其ノ結果ノ同一ナルヨリシテ遂ニ消極的ノ點ヨリ之ヲ罰スルナリ

刑罰 輕罪囚徒ノ逃走ヲ幫助シタルモノハ輕罪トシ重罪囚徒ノ逃走ヲ幫助シタルモノハ重罪ノ刑ニ處スヘキモノト規定シタルハ學理ニ適シタル區別ト云フヲ得ス然シ其ノ囚徒ノ逃走シタルハ全ク懈怠ニ出テタル場合ハ只財産刑ニ止マルナリ

- 一、未決囚徒ノ逃走シタル者 (第四百十二條)
 - 二、破獄又ハ暴行脅迫ヲ爲シテ逃走シタル者 (同 上)
 - 三、通謀逃走シタル者 (第四百十五條)
 - 四、囚徒ヲ逃走セシムル爲メ兇器ヲ給シ又ハ方法ヲ指示シタル者 (第四百十六條)
 - 五、囚徒ヲ劫奪シ又ハ暴行ヲ以テ囚徒ノ逃走ヲ助ケタル者 (第四百十七條)
 - 六、看守又ハ護送者ノ懈怠ニ依リ囚徒ヲ逃走セシメタル者 (第四百十七條)
- 二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス (第四百十五條)
- 一年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス (第四百十六條)
- 一年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス (第四百十七條)

罪人藏匿ニ關スル罪

罪人藏匿ニ關スル罪トハ其ノ犯罪人タルコトヲ知リテ藏匿スルト又ハ他人ノ罪跡ヲ隱蔽スル爲メニ藏匿スルトノ二種アレトモ性質上別ニ差異アルニ非サレハ同一ニシテ論述スヘシ

主體 親屬外ノ人ナレハ何人ト雖モ本罪ノ主體トナルコトヲ得ヘシ然レトモ此ノ犯罪ノ如キ國家ノ權力ヲ害シ公益ニ重大ナル關係アルモノヲ單ニ親屬間ノ愛情ニ過キサル道德上ノ理由ヲ以テ不問ニ附スルハ其ノ當ヲ得タルモノニ非サルヘシ又此等ノ罪ハ一種ノ犯罪ニシテ他ノ犯罪ノ從犯ニ非サルコトハ已ニ汎論ニ於テ論述セリ然レトモ犯罪人ヲ藏匿センコトヲ犯罪前ニ約シ置キテ之ヲ藏匿スルトキハ純然タル從犯ニシテ親屬タリト雖モ此ノ罪ヲ免ルヘキニ非ス

物體 此ノ罪ニ關スル被害ノ物體ハ犯罪ノ搜查權ナレトモ直接ニ之ヲ云ヘハ官署ノ逮捕又ハ搜查セントスル執行官ナリトス即チ犯罪人ハ逃走ノ囚徒ニシ

テ監視者ハ本罪ノ物體タルヘシ刑法第五百十一條ノ犯罪人トハ眞ニ犯罪人タルコトヲ要セス唯犯罪人タルノ嫌疑ヨリシテ國家ノ搜查スル者ナレハ可ナリ然シ現ニ犯人トノ明文アル以上ハ眞ニ犯罪者タルヲ要スレトモ本罪ノ如キハ贓物故買ノ罪ト同シク一種特別ノ罪ナレハ茲ニ所謂犯罪人トハ裁判宣告ニ依リ確定シタル犯人ナルヲ要セス裁判官ハ此ノ罪ヲ判定スルノ當時ニ於テ單ニ此ノ罪ヲ處斷スルノ目的ニ於テノミ藏匿セラレタル犯罪人ノ果シテ法律上ノ犯罪人タルヤ否ヤヲ定メ其ノ裁判ノ言渡ヲ爲スヘキモノトス而シテ此ノ場合ニハ一方ニ於テハ犯罪人トシ一方ニ於テハ無罪ト宣告スルカ如キ二箇ノ裁判相牴觸スルコトアルヘキモ裁判ハ各事件ニ付テ言渡スモノナレハ毫モ之ニ關係セサルナリ尤モ斯ル場合ニハ特典ヲ以テ之ヲ救正スルコトアラン而シテ此ノ二箇ノ裁判ノ相牴觸スルハ却テ法律ノ精神ナルコトアルヘシ其ハ罪人ヲ藏匿シタル爲メニ無罪ノ言渡アリタレハ之ニ對スル有罪ノ言渡ト相牴觸スルコトハ當然ノコトナレハナリ

犯意 此ノ犯罪ニ付テノ犯意ハ犯罪人又ハ囚徒ノ逃走人ナルコトヲ知ルヲ要

スルモノトス然シ之ヲ知ルト知ラサルトハ事實ノ問題ナレハ總則ニ依リ決ス
 ヘシ又現ニ事實ヲ知リテ其ノ行爲ハ法律ノ罰スル所ニ非スト考フル場合アル
 ヘシ例ヘハ某々ノ人ハ斯ク斯クノ所業ヲ爲シタルモノタルコトヲ知リ之ヲ藏
 匿スルモ其ノ所業ハ法律ニ觸ル、モノニ非スト信シタル場合ノ如キ是レナリ
 然レトモ法律ノ不識ハ犯罪ノ責任ヲ免ル、能ハサルハ刑法一般ニ適用スヘキ
 原則ニシテ犯人ノ知ラサルノ故ヲ以テ其効力ヲ空フセシムルコトヲ得サル
 ナリ尤モ實際ノ誤解ヨリ生スルコトモアルヘシ然ルトキハ犯意ナキヲ以テ無
 罪トシテ論スルコソ學理ニ適スルモノナラン何トナレハ罪人藏匿ノ所爲ハ此
 ノ犯人ヲ藏匿シテ刑罰ヲ免レシメントノ犯意ヲ有スル場合ニ法律ハ之ヲ罰ス
 ルノ精神ナレハナリ
 所爲 藏匿ニ要スル所爲ハ其ノ藏匿セントスル犯人ヲ自己ノ管督内ニ入レサ
 ルヘカラス又隠避ニ關スル所爲ハ自己ノ管督外ニ於テ官ノ搜查ヲ避ケシムル
 ノ所爲アレハ足レリトス

罰

一、犯罪人又ハ逃走ノ囚徒及監視ニ付セラレタル者ナルコトヲ知テ之ヲ藏匿シ
 若クハ隠避シタル者

十一日以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

(第百五十一條)

二、若シ重罪ノ刑ニ處セラレタル囚徒ニ係ルトキハ一等ヲ加フ (同上)

三、他人ノ罪ヲ免カレシメントシ圖リ其罪證ト爲ルヘキ物件ヲ隠蔽シタル者
 十一日以上六月以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以下二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

(第百五十二條)

附加刑ノ執行ヲ逃ル、罪

此ノ犯罪ハ刑法ニ規定シアレトモ其ノ條ヲ適用シテ之ヲ罰スル場合ハ殆トナ
 カルヘシ何トナレハ公權ヲ剝奪シ又ハ停止セラレタルモノカ町村及府縣會ノ
 議員ト爲ルコトアルモ其ノ選舉ハ無効ニ歸スヘク然ラサレハ多クハ身分詐稱
 ノ罪ヲ以テ罰セラレヘク或ハ外國ノ勳章ヲ借用シタルトキハ勳章借用ノ罪ヲ

以テ問ハルヘケレハナリ
 監視規則違背ノ場合ハ只監視規則違背ノ所爲ニシテ附加刑ノ執行ヲ逃ル、罪ニ非サルコトハ已ニ汎論ニ述ヘタルカ如ク監視ハ行政官カ犯人ノ行狀ヲ監視スルマテノモノナレハ之ヲ逃ル、コトヲ得サルハ期滿免除ノ規則ヲ適用セサルヲ以テモ知ルヘシ約言スレハ監視規則ハ犯人ノ行狀ヲ視察スル爲メニ設ケタルモノナレハ附加刑ノ執行ヲ逃ル、罪トシ論スルコトヲ得ス蓋シ監視規則ノ執行ハ監視自身ノ執行トハ其ノ間大差アルヘキモノニシテ監視規則ハ只監視自身ノ執行即チ犯人ノ行狀ヲ視察スルニ便宜ナル爲メ特ニ設ケタル規則ニシテ監視ノ外尙ホ別ニ犯人ヨリ或ル權利ヲ剝キ又ハ或ル義務ヲ犯人ニ負ハシメタルモノナリ故ニ刑法第五百五十五條ハ監視規則ニ違犯シタルモノ、罪ヲ定メタルモノニシテ監視ノ執行ヲ逃ル、罪ヲ定メタルモノニ非ス
 此ノ罪ヲ構成スル所ノ主體物體所爲等ニ付テハ特ニ説明ヲ要スヘキモノナシ而シテ其刑罰ニ付テハ私ニ公權ヲ行フノ罪ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加シ監視規則違犯ノ罪ハ十五日以上六月以

下ノ重禁錮ニ處ス但シ是等ノ罪ハ囚徒逃走ノ罪ト等シク已ニ一タヒ處刑ヲ受ケタルモノニ非サレハ犯スコトヲ得サルヲ以テ刑期限内再ヒ犯シタルモノニ非サレハ再犯ヲ以テ論スルコトナシ(第五百五十六條)

官ノ封印ヲ破毀スル罪

官ノ封印ヲ破毀スル罪トハ官廳ノ處分ヲシテ其ノ効力ヲ失ハシムル犯罪ノ一種ナリ

抑官廳ノ處分ヲシテ無効タラムシルノ罪ハ官ニ於テ公然揭示シタル官廳ノ公達告示又ハ命令書等ヲ破毀汚損スル罪其ノ他封印ヲ破毀スル罪等其ノ區域甚タ廣シト雖モ我カ刑法ハ其ノ文書ニ係ルモノハ之ヲ官文書偽造ノ一種トシ其ノ他ニ在リテハ之ヲ財産ニ對スル罪ヲ記載スル條下ニ附記シ只官ノ封印ヲ破毀スル罪ニ付テ一節ヲ設ケタリ(第七十四條乃至第七十六條)封印破毀ノ罪ハ甚タ單一ニシテ其ノ構成ニ付テハ特ニ論述スヘキモノナシト雖モ法文解釋上一二ノ疑點ナキニ非ス第一法文ニ「特別ニ施シタル封印」ト特記スレトモ特別

トハ物件差押へ其ノ他官ノ處分ノ目的ノ爲メニセルモノヲ指示スルニ過キス
 シテ他意アルニ非ス第二封印ヲ破毀スルトハ單ニ印影ノ存在スル部分ヲ破毀
 スルニ止マラス廣ク一般人ニ對シテ封印ノ効力ヲ失ハシムルノ所爲ヲ指示セ
 ルモノト解セサルヲ得ス例ハ茲ニ一條ノ繩ヲ以テ倉庫ニ繞ラシ倉庫ノ入口
 ニ至リテ官ノ封印ヲ施シタルニ際シ印影外ナル部分ヲ切斷シ之ヲ棄ツルモ尙
 ホ封印破毀ノ罪アルヘシト雖モ若シ竊盜アリ地下ヲ穿チテ倉庫ニ入りタルト
 キハ此ノ所爲ヲ以テ封印ヲ破毀シタルモノト云フコトヲ得ス何トナレハ封印
 ハ尙ホ一般人ニ對シテ効力存スレハナリ
 封印破毀ノ罪ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ看守者自ラ犯シタルトキハ
 一等ヲ加へ其懈怠ニ因リ封印ヲ破毀シ又ハ物件ヲ盜取毀壞スル犯人アルコト
 ナ覺ラサルトキハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス但シ官印ヲ破棄シテ其物
 件ヲ盜取シ又ハ毀壞シタル者ハ盜罪及ヒ毀壞ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷
 ス

政權ノ執行ニ抗拒スル罪

立法議會ノ議事ヲ妨害スル罪

立法議會ヲ解散シ若クハ不正ノ議決ヲ爲サシメントスルノ暴行又ハ暴行脅迫
 若クハ詐欺等ニヨリ議員ノ議場ニ臨席スルヲ妨クルカ如キハ直接ニ國家ノ立
 法權ヲ害スルモノニシテ素ヨリ之ヲ不問ニ附スヘキモノニ非スト雖モ我カ刑
 法ニ在リテハ特ニ是等ノ罪ヲ規定セス故ニ其ノ所爲ニシテ他人ノ刑名ニ觸ル、
 コトナキモノ、之ヲ罪トスルコトナシ尤モ今日ニ於テハ未タ國會ノ設ケナキ
 カ故ニ現今ノ立法議會ハ一ノ官廳ニシテ其ノ議員モ亦一ノ吏官ナルヲ以テ多
 クハ之ヲ官吏ノ職務ヲ妨害スルノ罪ニ問フコトヲ得ヘシ
 刑法第二百三十四條ノ場合即チ賄賂ヲ以テ投票ヲ爲サシムルノ罪ハ或ハ之ヲ
 不正ノ議決ヲ爲サシムルノ罪トスルコトヲ得ヘキニ似タレトモ同條ノ所謂投
 票ナルモノハ單ニ公選ノ投票即チ選舉ノ目的ノミニ出テタル投票ヲ指示スル
 モノニ止リ敢テ議事ノ議決ニ關スル投票ヲ包含スルモノニ非ス

公撰ノ投票ヲ偽ハル罪

公選ノ投票ヲ偽ルノ罪ハ公選ノ投票ヲ偽造増減シ又ハ賄賂ニ依リテ投票ヲ爲シ又ハ投票ノ結果ニ付キ詐欺ノ所爲アルモノヲ云フ
主體 公選ノ投票ヲ偽造シ又ハ其ノ數ヲ増減スル罪ハ何人ト雖モ之ヲ犯スコトヲ得ルモノニシテ投票人ニハ限ラサルモノトス例セハ無名投票ヲ許ス場合ニハ選舉權ナキモノニテモ之ヲ犯スコトヲ得ルナリ然レトモ第二百三十五條及第二百三十六條ノ場合ニハ投票検査又ハ結果報告ノ權力ヲ有スルモノニ非サレハ本罪ノ主體タルコトヲ得ス然レトモ第二百三十四條ノ場合ハ然ラサルナリ
物體 公ノ事務ニ關スル公選ノ投票ナリ故ニ公ケノ議會トハ參政權ニ關係ヲ有スルモノタルヘ

手段 第二百三十四條ノ場合ニ於テハ賄賂ノ手段ニ依リ投票ヲ爲サシメ又ハ賄賂ヲ受ケテ投票シタルコトヲ要ス但シ賄賂ヲ授受スル契約ニ止ルトキハ一般此ノ罪ヲ構成スルコトナシ然レトモ手付又ハ内拂トシテ幾分ヲ授受シタル

トキハ等シク賄賂タルヘシ
所爲 本罪ノ所爲ヲ分チ左ノ三種トス

- 一、投票ヲ偽造スルコト
 - 二、賄賂ヲ受ケテ投票ヲ爲サシムルコト
 - 三、投票ノ數ヲ偽ハルコト
- 右三箇ノ所爲アルトキハ正當ノ選舉人タルヲ要セサルナリ然レトモ賄賂ヲ受ケテ投票ヲ隱避スルノ所爲ハ含蓄セス

刑罰

一、公選ノ投票ヲ偽造シ又ハ其數ヲ増減シタル者

一月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金

(第二百三十三條)

二、賄賂ヲ受ケテ投票ヲ爲シ又ハ爲サシメタル者

二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

(第二百三十四條)

三、投票ヲ検査シ及ヒ其數ヲ計算スル者其投票ヲ偽造シ又ハ増減シタル時
六月以上三年以下ノ輕禁錮四圓以上四十圓以下ノ罰金

(第二百三十五條)

四、調書ヲ造リ投票ノ結局ヲ報告スル者其ノ數ヲ増減シ其他偽造ノ所爲アル時
一年以上五年以下ノ輕禁錮五圓以上五十圓以下ノ罰金 (第二百三十六條)

官吏瀆職ノ罪

總說

官吏瀆職ノ罪ハ犯罪ノ性質又ハ官吏ノ種類ニ依リ之ヲ區別スルヲ以テ學者ノ
定説トス乃チ犯罪性質ノ點ニ於テハ純然タル職務上ノ犯罪ト常事ト職務ト混
同セル犯罪トニ區別シ往々純然タル職務上ノ犯罪ヲ稱シテ適當ノ意義ニ於ケ
ル瀆職ノ罪ト云フ然レトモ我カ刑法ハ此ノ罪ヲ以テ國家ニ對スル罪トスルハ
學理ニ適シタルモノニ非ス獨乙刑典ニテハ全ク別罪トセリ又之ヲ犯罪夫レ自
身ノ性質ヨリ考フルモ國家ノ權利ヲ妨害スルノ所爲ニハ非スモテ只自己ノ奉

スル官職ヲ不正ニ利用シテ金利及財産上ノ權利ヲ享受シ又ハ之ヲ享受セント
スルモノニ相違ナケレトモ苟モ一國ノ政治ニ干與スル官吏ニシテ職務上ノ罪
アル場合ニハ又之ヲ國家ヲ害スルノ所爲ト云フコトヲ得サルニ非ス
又官吏ノ種類ノ點ニ於テハ一般官吏ノ犯罪ト特種ナル官吏ノ犯罪トニ區別ス
然レトモ我カ刑法ハ更ニ一種ノ區別ヲ設ケ第一官吏公益ヲ害スル罪第二官吏
人民ニ對スル罪第三官吏財産ニ對スル罪ノ三節ニ區別セリト雖モ是レ純然タ
ル職務上ノ犯罪ト混同ノ犯罪ナルヲ問ハス又一般官吏ニ係ルモノト特別ノ官
吏ニ係ルモノトヲ論セス共ニ之ヲ同一節ニ混入シタルモノニシテ學理上大ニ
當テ失シタルノ分類ト云フヘシ然リ而シテ官吏瀆職罪ノ一般犯罪ニ異ナル要
點ハ犯罪ノ主體ニ關係スルノミニシテ其ノ他ハ一般ノ犯罪ヲ組成スル條件ヲ
適用シ得ヘケレハ先ツ官吏瀆職ニ關スル一般ノ通則ヲ掲ケテ後本論ニ入り論
スル所アラントス

第一 一般ノ官吏トハ給料ノ有無及其直接ト間接トヲ問ハス總テ日本帝國ノ
國務ニ從事スル吏員ヲ云フ而シテ英語ノ「オッフヒ―サー」ナル語ハ單ニ役人ノ意

味ナレハ適當ナラス唯獨乙語ノ適切ニシテ能ク其ノ意味ヲ表ハシタルニ如ク
 コトナシ即チ獨乙語ノ「スタート」シ「チル」ハ國家ノ事務ニ服スル役人ナル字義
 ナ有スルモノナレハナリ然ルニ其ノ官吏ハ政府ノ官制ニテ定メラレタル吏員
 ハ勿論巡查政府ノ行政事務ニ關係スル市邑ノ役人及戸長ノ如キ兼行事業ヲ取
 扱フ吏員モ一般官吏ノ内ニ含ムモノナレトモ國會議員公吏兵卒宮中ノ私吏及
 政府ノ事務ヲ行フ任ナキ自治共同體ノ役人ハ刑法ニ所謂官吏トシテ此ノ罪ノ
 主體タルコトヲ得サルヘシ

第二 純然タル職務上ノ瀆職罪ハ故意アルヲ必要トシ其ノ過失怠慢ニ出ツル
 モノハ官吏懲戒令ニ照シテ處分スヘキノミ然ルニ第二百八十一條ノ水火震災
 ノ際解禁ヲ怠リタル場合ニ故意ナキモ之ヲ罰セラル、ハ過失罪トシテ問フノ
 精神ナラシ然シ第二百八十九條ノ犯罪ノ如キハ學理上ヨリ之ヲ論スルトキハ純
 然タル官吏職務上ノ犯罪トスルハ少シク其ノ當テ得サルニ似タリ

第三 職務ト常事トノ混同セル犯罪ハ官吏カ職權ヲ濫用シテ其ノ極遂ニ通常
 人ニテモ犯罪トナルヘキ行爲ヲ犯シタル場合ニシテ此ノ場合ハ犯意ノ如何ヲ

問フノ必要ナキモノトス何トナレハ常人ノ犯セル罪ニ故意ヲ以テ足レリトス
 ルモノナラハ官吏之ヲ犯スモ亦故意アルヲ必要トシ敢テ惡意アルヲ要セサレ
 ハナリ例ヘハ第二百八十九條ノ場合ニ於テモ亦異ナルコトナキカ如シ
 第四 職務ト常事ト混同セル犯罪ハ主體ノ外ニ物體手段及所爲等ノ條件ニ至
 テハ常人ノ犯罪ニ要スル場合ト異ナルコトナシ因テ此官吏瀆職ノ罪ニ關シテ
 ハ右ニ述ヘタル四箇ノ要點ヨリ外ニ詳述スヘキコトナケレハ主體ニ於テ其差
 異アルコトヲ研究スレハ足レリトセンノミ

官吏公益ヲ害スル罪

第一 法律規則ヲ施行スルノ義務アル官吏ニシテ其ノ義務ヲ執行セス又ハ一
 般ノ官吏カ其ノ法律規則ノ公布施行ヲ妨害シタル者ハ二月以上六月以下ノ輕
 禁錮十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス法文ニ官吏其管掌ニ係ルト云フハ公
 布施行ノ義務アル官吏ヲ指シ之ニ反シテ其ノ公布施行ヲ妨害シタル犯罪ノ主
 體ハ是等ノ義務アルモノニ止ラス廣ク一般ノ官吏ヲ指ス(第二百七十三條)

第二 陸海軍ノ將校カ兵隊ヲ要求シ及之ヲ使用スル權アル官吏兵權ヲ以テ鎮撫スヘキ時ニ當リ其ノ處分ヲ爲サ、ル者ハ三月以上三年以下ノ輕禁錮二十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス之ニ反シテ陸海軍ノ將校タル者出兵ヲ要求スル權アル官署ヨリ要求ヲ受ケ故ナクシテ之ヲ肯セサルトキハ二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス斯ク將校ト否トニ從ヒ其刑ニ輕重ヲ設ケタルハ敢テ特別ノ理由アルヲ發見スルコト能ハサルノミナラズ陸海軍ノ將校ニシテ出兵ヲ肯セサルノ所爲ハ官權ヲ行ハサルノ所爲ナルヲ以テ官吏公益ヲ害スル犯罪タルヘキニ特ニ之ヲ公務ヲ行フヲ妨害スルノ犯罪中ニ編入シ公ト官トナ同視シタルハ能ク國家ト社會トノ範圍ヲ明カニシタルモノト謂フヲ得ス(第二百十四條及第七十七條)

第三 官吏カ規則ニ違背シテ商業ヲ營ミタル場合ニハ日本刑法ハ一般ニ之ヲ罰スレトモ正當ニ論スルトキハ官吏懲戒令ニ依リ處ス可キモノニシテ刑法ニ之ヲ規定スヘキモノニアラス故ニ汎論ニ於テ論述シタル理由ニ從ヒ此ノ犯罪ノ共犯人モ亦之ヲ此ノ罪ノ共犯トシテ罰スヘキモノナレトモ往々之ヲ以テ其

ノ例外トスルヲ適當トスルノ論者アルヲ見ルニ至レリ然レトモ直接ニ人民ノ商業ニ關係ヲ有スル收稅官吏會計吏ノ如キハ刑法ニ依リ處分スルハ他國ノ法律ニモ規定シアレトモ日本刑法ノ如ク一般ノ官吏ニ及ボシテ刑法ヲ適用スルハ他國ノ法律ニハ絶テナキ所ニシテ僅ニ印度刑法ニ於テ之ヲ見ルノミ然ルニ官吏ニシテ職業ヲ行フコトアレハ或ハ官吏懲戒令ニ觸ル、コトアルモ刑法ヲ以テ之ヲ罰スルコトヲ得ス然ラハ則チ其ノ職業ノ刑法ニ所謂商業トノ區別ハ何レノ點ニアルヤヲ知ルヘカラサレハ今茲ニ是等ノ定義ヲ下シテ其ノ差異ノアル所ヲ明カニスヘシ

蓋シ職業トハ活動スル人間ヲ相手トスルモノヲ云ヒ商業トハ天造物又ハ之ニ人工ヲ加ヘタルモノヲ相手トスルモノヲ云フ之ヲ言ヒ換ユレハ職業ハ人間知識ノ活動ニシテ代言人教師醫業等ナリ之ニ反シテ商業ハ人間勞力ノ活動ナレハ其ノ相手ニハ必ス天造物又ハ人工ヲ加ヘタル天造物ナルコトヲ要スルナリ故ニ此ノ罪タル公達セラレタル規則ヲ以テ禁止シタル商業ヲ爲スノ所爲ヲ罰スルニ止マルヘシ

官吏規則ニ違背シテ商業ヲ爲シタル者

二十圓以上五百圓以下ノ罰金

(第二百七十五條)

官吏人民ニ對スル罪

此ノ官吏ノ人民ニ對スル罪ニ就テハ我カ刑法ノ規定ニ依レハ分チテ七種ト爲ス

第一 (威權濫用ノ罪) 法文ノミニテハ不充分ニシテ過當ノ意義ヲ缺クニ似タレトモ之ヲ正當ニ解釋スレハ其ノ所謂濫リニ威權ヲ用ユルトハ官吏カ法律上ノ規定ニ反シテ其ノ職務ヲ濫用シタル場合ハ勿論又ハ其ノ職務ヲ濫用セントシテ人民ヲ脅迫シタル場合ヲ包含シ權利ナキ事ヲ行ハシムルトハ權利ト相對立スヘキ義務ヲ指シタルモノニシテ即チ應サニ爲スヘキ義務ナキ事ヲ行ハシメタル場合ヲ指示セルモノトセム

此罪ニ對スル刑罰ハ十一日以上二月以下ノ重禁錮二圓以上廿圓以下ノ罰金ト

ス(第二百七十六條)

第二 (被害者ヲ保護スルコトヲ怠ルノ罪) 人ノ身體財産ヲ妨害スル犯人アルニ當リ豫審判事檢察官其ノ報告ヲ受ケテ速カニ保護ノ處分ヲ爲サ、ルモノハ十五日以上三月以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加テ(第二百七十七條)凡ソ是等ノ官吏ハ現行犯罪ノ通知ヲ得テ犯人ノ搜查其ノ他證據取調等ヲ爲スノ義務アルハ當然ノ職分ナリト雖モ本條ハ更ニ是等ノ官吏ニ負ハシムルニ被害者ヲ保護スルノ義務ヲ以テセリ是レ本條ヲ以テ特ニ官吏ノ人民ニ對スル犯罪中ニ加入セル所以ナラン然レトモ現行犯罪ニシテ且犯人ノ尙ホ犯罪ヲ執行スルノ際ニ非サレハ保護ノ處分ヲ施スコト能ハサルヲ以テ本條ヲ適用スル場合極メテ僅少ナラン

第三 (官吏人ヲ監禁スルノ罪) 逮捕官吏司獄官吏カ法律ニ定メタル法則ヲ遵守セシメテ人ヲ逮捕シ又ハ不正ニ人ヲ監禁シタルモノト司獄官吏ノ法則ヲ遵守セシメテ囚人ヲ監禁シ若クハ囚人ヲ出獄セシムヘキ時ニ至リ之ヲ放免セサル者トノ二種アリ共ニ十五日以上三月以下ノ重禁錮二圓以上二十圓以下ノ罰金

ニ處シ十日ヲ過クルコトニ一等ヲ加フ若シ是等ノ官吏及護送者ニシテ苛酷ノ所爲ヲ施シタル時ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス因テ人ヲ死傷ニ致シ又ハ水火震災ノ際ニ其ノ監禁ヲ解クコトヲ怠リ因テ死ニ致シタルモノハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ一等ヲ加フ(第二百七十八條乃至第二百八十一條)

蓋シ司獄官吏ニ就テハ法律上囚人ヲ出獄セシムヘキ時ニ至リ之ヲ放免セサルモノモ尙ホ監禁ノ罪ヲ犯シタルモノト爲シ又水火震災ノ際過失ニ非ス故意ヲ以テ囚人ノ監禁ヲ解カサルトキハ謀殺若クハ故殺ノ罪タルヘシ何トナレハ水火震災ニ際シ之ヲ其ノ儘ニ放任スルトキハ自然ノ結果トシテ自由ヲ奪ハレタル囚人ノ死傷ニ至ルヘキハ司獄官吏ノ熟知スル所ナリ而シテ自ラ知リテ故意ニ之ヲ解放セサルニ至テハ囚人ノ死ヲ欲スルノ意ナキモ之ヲ殺スノ意ナキモノトスルコトヲ得サルナリ

第四 (受理審判ヲ拒ムノ罪)此ノ犯罪ハ特別官吏ナル裁判官檢察官ノ犯スヘキ所爲ニシテ其ノ事件ノ刑事タルト民事ナルトヲ問ハサルナリ

此ノ罪ニ對スル刑罰ハ十五日以上三月以下ノ輕禁錮五圓以上十圓以下ノ罰金トス(第二百八十三條)

第五 (賄賂收受ノ罪)此ノ犯罪ハ刑法第二百八十四條ニ規定セラレタレトモ余ハ先ツ賄賂罪ニ關シテ學理上ノ定義ヲ與ヘ然ル後本罪ヲ組成スル條件ヲ畧述スヘシ

定義 官吏其ノ職務ヲ執行スルノ報酬若クハ原因トシテ適法ノ報酬ノ外ニ他ニ満足ヲ受ケ又ハ受ケンコトヲ承諾スルコトヲ云フ

主體 日本刑法ニテハ官吏ノ資格アルモノニ非サレハ本罪ノ主體タルヲ得ス然レトモ英佛二國ノ法律ニテハ授受者ヲ共ニ罰スルヲ以テ之ヲ授與スル人モ本罪ノ主體トナルコトヲ得而シテ英法ハ一步ヲ進メ或ル官吏ヲシテ職務上ノ事ヲ爲サシメン爲メ通常人ノ間ニ金錢ヲ贈與シタル場合ニテモ尙ホ賄賂罪ヲ構成スルモノトセリ左レト日本刑法ハ其ノ賄賂トシテ物品ヲ贈ルモノヲ罰スルコトナシ然ラズシテ其ノ賄賂ノ物品ヲ贈ルモノヲモ俱ニ罰センカ其ノ刑罰ニ觸レンヲ恐レテ之ヲ隱匿スルニ至リ其ノ結果ハ遂ニ賄賂罪ノ證據ヲ得

ルノ道ヲ失シテ本罪ヲ發見シ難キ弊ナキヲ得ヌ又爰ニ云フ官吏トハ犯罪ノ當時現ニ官吏ノ位置ニ在ルモノニ非サレハ縱令明日某官ニ就任スヘキ召喚狀ヲ受居ルモ刑法ニ所謂官吏タルモノニ非サルヘク從テ此ノ罪ノ主體タルコトヲ得サルヘシ

物體 犯人ノ満足ナリ其ノ満足トハ必スシモ金錢及財産ニ限ラス其ノ他犯罪人ノ親屬ヲ官吏ニ登庸スルトカ又ハ負債ノ義務免除若クハ男女ノ情交ヲ約束スル等一ニシテ足ラス但シ我カ刑法ハ賄賂ヲ收受シ云々ト明言スルヲ以テ收受シ得ヘキ物體ニ非サレハ本條ノ犯罪ナカルヘシ

所爲 此ノ罪ノ所爲ハ單ニ満足ヲ受ケ又ハ受クルコトヲ約諾シタル而已ニテ現ニ之ヲ受クルコトナキモ以テ充分ニシテ敢テ官吏カ其ノ満足ノ報酬トシテ不法ノ處分ヲ爲スコトヲ要セス

又其ノ所爲官吏ハ職務ヲ執行スル前ニ非サレハ本罪成立セスト論スルモノアレトモ實際英法ノ如ク其ノ時ノ前後ヲ問ハサルモノトスルニ非サレハ以テ此ノ弊ヲ救フニ足ラサルナリ而シテ官吏ニ與フル満足ニ對スル報酬即チ官吏ヲ

シテ其ノ満足ノ爲メニ行ハシムル所爲ハ敢テ不法ナルヲ要セサルナリ
犯意 犯人ハ賄賂ヲ贈與スル人ノ希望スル所ノ事柄ヲ執行スル意思アルヲ必要トセサレトモ犯人カ賄賂ヲ贈與スルハ何カ爲メニスル所アルナルヘシト知リテ之ヲ受クルトキハ本罪ニ關スル犯意アリトシテ論スヘシ

種類及刑罰主體即チ官吏ノ種類ニヨリテ其ノ刑ヲ異ニスルコト左ノ如シ
但シ何レノ場合ニ於テモ已ニ收受シタル賄賂ハ之ヲ沒收シ費用シタルモノハ其價格ヲ追徵スルヲ以テ我カ刑法ノ規定トス然レトモ此ノ追徵ハ固ヨリ刑罰ニ非スシテ沒收ノ一方法ナリトス故ニ犯人ニシテ裁判言渡後ニ死亡スルモ更ニ之ヲ追徵スルヲ得ス然ラスンハ犯者以外ノモノニ向テ刑罰ヲ執行スルモノトナルヘシ

刑罰

- 一、官吏人ノ囑托ヲ受ケ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタル者
一月以上一年以下ノ重禁錮四圓以上四十圓以下ノ罰金第二百八十四條
- 二、裁判官民事ノ裁判ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタル者

二月以上二年以下ノ重禁錮五圓以上五十圓以下ノ罰金(第二百八十五條)
 三、裁判官檢察官刑事ノ裁判ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタル者
 二月以上二年以下ノ重禁錮五圓以上五十圓以下ノ罰金(第二百八十六條)
 第六 (狂斷ノ罪)一般ノ官吏及民事裁判官ニシテ賄賂罪ヲ犯シ因テ不正ノ處分
 ナ爲シタルトキハ賄賂罪ニ照シ各一等ヲ加ヘ(第二百八十四條第二項及第二
 百八十五條第二項)裁判官檢察官賄賂ニヨリ又ハ私情私怨ノ爲メ被告人
 ナ曲庇シタルトキハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ
 罰金ヲ附加ス其之ヲ陷害シタルモノハ二年以上十五年以下ノ重禁錮ニ處シ
 二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス若シ狂斷シタル所ノ刑ヨリ重キ時ハ
 第二百二十一條及ヒ第二百二十二條ノ例ニ照シテ處斷ス
 第七 (拷問ノ罪)苟モ法律ニ於テ拷問ヲ禁止スル以上ハ拷問ノ罪モ亦官權濫用
 罪ノ一種ニ過キサレトモ我カ刑法ハ特條ヲ設ケテ之ヲ一種ノ重キ罪トセリ即
 チ裁判官檢察官及警察官被告人ニ對シ罪狀ノ陳述ヲ強ユルノ方便トシテ被告人
 ニ對シ暴行ヲ加ヘ又ハ凌虐ノ所爲アルモノハ四月以上四年以下ノ重禁錮ニ處

シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス因テ被告人ナ死傷シタルトキハ毆打創
 傷ノ各本條ニ照シ一等ヲ加ヘ重キニ從テ處斷ス

官吏財産ニ對スル罪

第一(監守盜) 官吏自ラ監守スル所ノ金穀物件ヲ竊取シタルモノハ輕懲役ニ處
 シ因テ官ノ文書簿冊ヲ増減變換シ又ハ毀棄シタルトキハ自ラ監守スルト否ト
 ナ問ハス第二百五條ノ例ニ照シテ處新ス其輕罪ノ刑ニ止マルモノト雖モ六月
 以上二年以下ノ監視ニ附ス(第二百八十九條及第二百九十一條)
 第二(正數外ノ金穀ヲ徵收スル罪) 租稅其ノ他諸般ノ入額ヲ徵收スル官吏正數
 外ノ金穀ヲ徵收シタル者ハ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓
 以下ノ罰金ヲ附加ス監視ハ前項ニ同シ(第二百九十條)
 但シ法文ニハ正數外ト特書スルモ法律ニ於テ徵收スルコトヲ許サルハ勿
 論上納期限ノ未タ至ラサル金錢財物ヲ徵收スルモ亦同シカルヘシ

違警罪

總說

抑違警罪ナルモノハ其ノ犯罪ノ度数及犯者ノ人数ヨリ之ヲ調査スルトキハ實際上極メテ重大ノ關係ヲ有スヘキモノナレトモ各罪ノ性質及之ニ對スル刑罰ヨリ考究スルトキハ實ニ輕微ノ犯罪ニシテ逐次之ヲ詳說スルノ必要ヲ見サルナリ故ニ余ハ專ラ學理上ヨリ其ノ大綱ヲ畧說スルニ止メシ

諸違警罪ハ諸君ノ熟知セラル、如ク僅ニ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料若クハ一日以上十日以下ノ勾留ニ處スヘキ犯罪ニシテ刑典及達令ヲ以テ之ヲ規定スルモノナリ故ニ違警罪ノ内ニハ法律ニ違犯スル所爲及達令ニ違犯スル所爲ノ二者ヲ含蓄スルモノトス以下總般ノ違警罪ニ關スル通則ヲ說述セントス

(第一)違警罪ハ重罪及輕罪ニ比スレハ全ク其性質ヲ異ニシ近世ニ於ケル刑法折衷主義ニ於テハ重罪輕罪ハ國家ト正義ヲ害スルモノナレハ其刑罰ハ反坐ノ性

質ヲ具備スヘク刑罰第二ノ目的タル社會ノ利益ハ此ノ反坐ノ性質ヲ變セサル
 區域内即チ各刑罰ノ範圍内ニ於テノミ始メテ之ヲ計畫スルコトヲ得ヘキモノ
 ナルハ余ノ既ニ汎論ニ於テ詳述シタル所ナリ然ルニ違警罪ハ之ニ反シテ全ク
 社會ノ利益ヲ増進シ地方ノ平安ヲ保維スルヲ以テ其ノ目的トシ犯人カ正義ヲ
 傷害シ權利ヲ毀損シタルノ大小及惡意ノ輕重ニ從ヒ刑罰ヲ以テ之ニ反坐スル
 モノニ非ス是レ即チ違警罪ハ過失怠慢ニ係ルモノヲ罰シ惡意ノ有無ヲ問ハザ
 ルコト多キ所以ナリ是故ニ重罪輕罪タル性質ヲ有スヘキ違警罪ヲ設クルコト
 ナ得ス彼ノ普國刑法ニ於テ違警罪ヲ區別シ重罪ト等シク身體財産自由及名
 譽等ニ對スル違警罪ヲ列叙シタルハ全ク此ノ罪ノ性質ヲ誤リタルモノニシテ
 識者ノ冷笑スル所ナリ例ヘハ刑法ノ缺典ヲ補充センカ爲メニ重罪又ハ輕罪ノ
 性質ヲ有スル犯罪ヲ違警罪トシテ處分シ或ハ毒殺罪ノ豫備ヲ罰センカ爲メニ
 違警罪ヲ設クルカ如キハ實ニ不當ノ甚シキモノナリ何トナレハ違警罪裁判所
 ニ於テ此ノ所爲ヲ處分セントスルニハ必ス先ツ其ノ豫備ノ目的トナリタル毒
 殺罪ノ事實ヲ審理セサルヲ得サルノ不都合ヲ生スルヲ以テナリ去レトモ安寧

警察ノ目的ヲ達センカ爲メ夜間ニ刀劍等ヲ賣買スルヲ禁止シ或ハ醫師ノ證明
 ナクシテ毒藥ヲ賣買スルモノヲ罪スルカ如キハ一般ニ刀劍又ハ毒藥ノ所爲ヲ
 罰スルニ過キサレカ故ニ違警罪ノ性質ヲ害スルモノニハ非サルナリ

(第二)公衆一般ノ安寧ヲ計畫スル場合ニ於テ各人ヲシテ必ス其ノ規定ヲ遵奉セ
 シメサレハ其ノ安寧ヲ維持スル能ハサルトキ例ヘハ流行病及火災警察ニ關ス
 ル規則ノ如キハ違警罪ノ制裁ヲ以テ之ヲ強制スルコトヲ得ヘシト雖モ唯地方
 一般ノ利益ヲ増進スルノ目的ニ出テタル規則ニシテ之ヲ遵守セサルモノハ自
 己ノ利益ヲ失ヒ又ハ之ヲ増進スルコト能ハサル場合ニ在テハ違警罪ヲ以テ其
 ノ違犯者ヲ罰スルコトヲ得ヌ例ヘハ或ル商業上ノ利益ヲ目的トスル地方組合
 ニ加入ヲ命スル規則ノ如キ即チ是レナリ

(第三)凡ソ此ノ刑法總則ニ於テ認メタル一般ノ原理ハ違警罪ニモ亦之ヲ適用ス
 ヘキモノナレトモ其ノ重輕罪ト相異ナル要點ヲ擧ケンニ

(一)内國及我カ治外法權ヲ及ホシ得ヘキ外國ニ於テ犯シタル違警罪ニ非サレ
 ハ其ノ罪ヲ問フコトナシ

- (二) 違警罪ハ各地方ニ固有ナルモノアリテ全國ヲ通シ必スシモ同一ノ違警罪アルヘキモノニ非ス
- (三) 附加刑ハ沒収ノ外違警罪ニ適用スルモノナシ然レトモ實際ニ於テハ沒収モ亦之ヲ違警罪ニ適用スルコトナキ慣例タルカ如シ
- (四) 違警罪ニハ假出獄及復權ヲ用ヒス又大赦及特赦ハ法律ニ明文ナシト雖モ實際之ヲ適用スルコトナカルヘシ
- (五) 違警罪ニ就テハ特別ノ不論罪宥恕減輕又ハ自首減輕ノ例ヲ適用セサレトモ其一般ノ不論罪ニ就テハ第八十三條ノ特例ヲ適用ス又違警罪ニ於テハ法律上財産ニ對スル罪アルコトヲ認メサルヲ以テ第八十六條及第八十九條ノ減等例ヲ適用スルコトナカルヘシ
- (六) 數罪俱發ハ第一百一條ノ特例ヲ適用シ再犯加重ハ第九十三條ノ特例ヲ適用ス
- (七) 違警罪ニ於テハ教唆者及從犯ナシ然レトモ幼者又ハ其他ノ不能力者ヲ教唆シ或ハ其ノ從犯タルモノ、如キハ自ラ正犯タルモノニシテ共犯ノ例ヲ

適用スヘキモノニ非ス

(八) 違警罪ノ未遂犯ハ之ヲ罰スルノ明文ナシト雖モ輕罪ノ刑ヨリ減等シテ違警罪ノ刑ニ下ルトキハ其ノ減輕シタル結果ヲ以テ本刑トスルヤ否ヤヲ考察シ之ヲ本刑トスル場合ニ在テハ數罪俱發及共犯等ハ違警罪ノ例ヲ適用スヘク若シ單ニ刑ノ減輕ニ止マリ之ヲ本刑トナサル場合ニ在テハ其ノ實際ニ於テ科スル所ノ刑ハ違警罪ノ刑ナルモ仍ホ輕罪ノ例刑ヲ適用セサルヘカラサルナリ

刑典ニ於テ認メタル各種ノ違警罪

我カ刑法ハ單ニ刑罰ノ輕重ニ依リ違警罪ヲ區分シテ五種トナシ(第一)五錢以上五十錢以下ノ科料(第二)一日ノ勾留又ハ十錢以上一圓以下ノ科料(第三)一日以上三日以下ノ勾留又ハ二十錢以上一圓二十五錢以下ノ科料(第四)二日以上五日以下ノ勾留又ハ五十錢以上一圓五十錢以下ノ科料(第五)三日以上十日以下ノ勾留又ハ一圓以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處スヘキモノトセリ夫レ斯ノ如ク僅

ニ一日以上十日ノ勾留又ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ナル狹隘ノ範圍
 内ニ在リテ之ヲ五種ニ區分セルハ其ノ計算ノ精密ナルヲ驚クノ外學理上毫モ
 感スヘキ所アルニ非ス而シテ或ル學者ノ著書及普國刑法ニ依レハ違警罪ニ就
 テモ重罪及輕罪ノ類別ト同一ナル方法ヲ採用スレトモ是レ亦違警罪ヲ以テ單
 ニ重罪若クハ輕罪ノ輕微ナルモノト同視スルノ謬見タルニ過キサリナリ故ニ
 余ハ罵詈嘲弄ノ罪第四百二十六條第十二項他人ノ牛馬其他ノ獸類ヲ解放スル
 ノ罪他人ノ舟筏ヲ解放スル罪官許ヲ得スシテ獸類ヲ官有地ニ放ツ等ノ罪第四
 百二十八條第八、十、十一項並ニ他人ノ田野等ニ於テ菜菓ヲ採食シ他人ノ田園ヲ
 通行スル等ノ罪第四百二十九條第九、十五、十六、十七、十八項ノ如キモノト雖モ他
 ノ重大ナル犯罪ヲ豫防スル等專ラ行政上ノ目的ヨリ之ヲ罰スルモノトシ以下
 逐次現行法ノ規定ヲ示サントス

(第一)安寧警察ノ目的ニ出テタル違警罪ハ公ノ危險ヲ豫防シ又ハ私權利ノ安全
 ナ保護スルモノヲ含蓄ス即チ左ノ如シ
 規則ヲ遵守セスシテ火藥破裂質又ハ發火質ノ物品ヲ運搬シ又ハ貯藏シ官許ヲ

得スシテ烟火ヲ製造販賣シ又ハ之ヲ玩ヒ、蒸氣器械烟筒等ノ建造掃除ニ關スル
 規則ニ違背シ崩壞セントスル家屋等ノ修理ヲ怠リ官許ヲ得スシテ死屍ヲ解剖
 シ自己ノ所有地内ニ死屍アルコトヲ知テ官署ニ申告セス又ハ之ヲ他所ニ移ス
 等ノ所爲第四百二十五條第一、二、三、四、五、六、七、八、十一、十三項人家等ノ近傍ニ於テ
 濫リニ火ヲ焚キ水火等ノ變ニ際シ防禦スヘキ官令ヲ肯セス、通路ノ危險ナル井
 溝等ニ防圍ヲ爲サス、路上ニ於テ獸類ヲ嚇シ又ハ驚逸セシメ發狂人ノ看守ヲ怠
 リ路上ニ徘徊セシメ狂犬猛獸等ヲ路上ニ放チ變死人ノ檢視ヲ受ケスシテ埋葬
 スル等ノ所爲第四百二十六條第一、二、五、六、七、八、九項車馬ヲ疾驅シテ行人ヲ妨害
 シ、制止ニ背キ群衆ノ場所ヘ車ヲ牽キ入レ夜中無提燈ニテ車馬ヲ疾驅シ出入ヲ
 禁シタル場所ニ出入シ及路上ノ常燈ヲ消ス等ノ所爲第四百三十七條第二、三項
 及第四百二十九條第九、十三項等

(第二)營業警察ノ目的ニ出テタル違警罪ハ警察規則ニ違背シテ商工ノ業ヲ爲シ
 或ハ官署ヨリ價額ヲ定メタル物品ヲ定價以上ニ販賣スル等ノ所爲第四百二十
 七條第八項第四百二十八條第一項ヲ包含ス

(第三)健康警察ハ衛生並ニ醫事ニ關スル行政ヲ指示スルモノニシテ此ノ種ニ屬スル違警罪ハ即チ左ノ如シ

健康保護又ハ傳染病豫防規則ニ違背シ不熟ノ果物又ハ腐敗シタル飲食物ヲ販賣シ、禽獸ノ死屍ヲ道路ニ棄擲シ、醫師穩婆等故ナク急病人ノ招キニ應セス、死亡ノ申告ヲ爲サスシテ埋葬シ、溝渠下水ヲ毀損シ又ハ之ヲ浚ハサルノ所爲等第四百二十六條第三、四項第四百二十七條第六、七、九、十項第四百二十八條第六項

(第四)建築警察及交通警察ノ目的ニ出テタル違警罪ハ左ノモノヲ含蓄ス

木石ヲ道路ニ堆積シ又ハ棄擲シ、私有地外ニ家屋牆壁等ヲ設ケ官許ヲ得スシテ路傍又ハ河岸ニ床店等ヲ開キ、路上ノ植木市街ノ常燈又ハ公示シタル通行禁止及指道標ヲ毀損シ、渡船橋梁等ニ於テ定額以上ノ通行錢ヲ取り又ハ通行ヲ妨ケ或ハ濫リニ之ヲ通行シ、制止ヲ肯セスシテ路傍ニ露店ヲ出シ、橋梁又ハ堤防ノ害トナルヘキ場所ニ舟筏ヲ繫キ道路ニ牛馬諸車又ハ木石等ヲ放擲シテ通行人ヲ妨ケ又ハ水路ニ舟ヲ並ヘテ通船ヲ妨害シ、道路ニ冰雪等ヲ投棄シ又ハ通路ノ掃除ヲ怠ル等ノ所爲第四百二十七條第四、五、十三、十四、十五、十六項第四百二十八條

第二、三、七項第四百二十九條第一項乃至十項

(第五)風俗警察ノ目的ニ出テタル違警罪ハ左ノモノヲ含蓄ス

密賣淫又ハ其媒合容止ヲ爲シ、定リタル住居ナク又常業ナクシテ諸方ニ徘徊シ違警罪ノ犯人ヲ曲庇シ、堂碑神佛ヲ汚損シ、流言浮説ヲ爲シ、又ハ符呪等ヲ以テ人ヲ惑ハシ路上ニ於テ賭博ニ類スル商業ヲ爲シ其ノ他道路ニ於テ放歌高聲ヲ發シ又ハ酩酊シテ路上ニ喧噪シ若シハ醉臥スル等ノ罪(第四百二十五條第十、十二、十四項第四百二十六條第十、十一項第四百二十七條第十一、十二項第四百二十八條第四、九項第四百二十九條第十一、第十二項)

刑典以外ノ違警罪

此ノ刑法ニ定メタルモノ、外尙ホ他ノ法律及中央又ハ地方行政官省ノ達令閣令省令府縣令市條例ヲ以テ規定シタル違警罪甚々數多ナトリス刑法第四百三十條ハ單ニ地方ノ便宜ニ依リ規定スル所ノ違警罪ヲ犯シタルモノハ其ノ罰則ニ從テ處斷スト云ヒ中央官署ノ定メタル違警罪ニ就テハ明言スル所ナシト雖

モ中央權ト地方權トヲ問ハズ總テ行政官衙ノ達令ヲ以テ規定スヘキ違警罪目ハ左ノ原則ニ從フヘキモノトス

(第一)達令制定權ハ法律ノ明許又ハ默許ニ依リ始メテ中央若クハ地方官廳ニ歸スヘキモノナレトモ達令自身ハ敢テ主權者ノ認可ヲ經タルモノニアラサルナリ故ニ法律即チ主權者ノ認可セル規則ト達令トハ互ニ牴觸スルコトアルモ時ノ後ナルモノハ時ノ前ナルモノニ勝ツト云フ原則ヲ適用スルコト能ハス必ス達令ヲ以テ其効力ヲキモトナシ裁判官ハ之ヲ無効トスルノ裁判ヲ下スコトヲ得ヘシ

(第二)法律ノ明許ニ出テタル達令規則ハ如何ナル事項ト雖モ其ノ許容セラレタル權内ニ屬スル以上ハ之ヲ制定スルコトヲ得レトモ其ノ默諾ニ出テタル場合ハ行政警察ノ範圍ニ屬スヘキ事項ニ非サレハ達令規則ヲ制定スルコト能ハサルモノト推測スルヲ以テ當然トス彼ノ市條例ニ科料ノ制裁ヲ附スルコトヲ得ヘキハ法律ノ明文ヲ以テ許容スル所ナリト雖モ地方ノ便宜ニ基キ規定スル所ノ其ノ他ノ違警罪ハ法律ノ默許ニ出ツルモノナリ前ニ述ヘタル刑法第四百三

十條ハ單ニ法律ニ於テ地方ニ默許シタル違警罪ヲ處分スルノ例ヲ定メタルニ止マリ同條ヲ以テ萬般ノ違警罪ヲ設定スルノ權ヲ地方官署ニ委任シタルモノニ非ス是ヲ以テ前ノ總說ニ於テ論述シタル原則ニ反對セル違警罪ヲ設クルカ如キハ行政警察ノ目的ニ出ツルモノニ非サルカ故ニ地方官廳ノ權内ニアラス(第三)刑法ノ規定セル違警罪ト地方ノ違警罪トノ關係ハ之ヲ分解スルコト容易ナリ若シ地方官署ニシテ既ニ刑法ニ規定シタル違警罪ニ付キ刑法ノ刑ニ異ナリタル刑罰ヲ設ケ或ハ同一ナル刑ヲ設ケタルトキハ該地方官署ノ規定シタル違警罪ハ無効ナルヲ以テ裁判官ハ地方規則ノ規定ヲ顧ミルコトナク單ニ刑法ノ正條ヲ適用スルニ止マルヘシ例ヘハ刑法第四百二十六條第四項ニ於テ健康ヲ保護スル爲メ設定シタル規則ニ違背シタル者ハ二日以上五日以下ノ勾留ニ處シ又ハ五十錢以上一圓五十錢以下ノ科料ニ處スヘキコトヲ規定スルニ拘ラズ地方ニ於テ此ノ規則ヲ設ケ其ノ制裁トシテ刑法ト同シキ違警罪刑ヲ定メ或ハ之ト異ナリタル刑ヲ設ケタルトキハ刑法ノ定メタル刑ヨリ重ク若クハ輕キトキハ勿論刑法ノ刑ノ範圍内ニ於テ別ニ適當ノ刑ヲ定メ又ハ勾留ノミニ處シ

若シハ科料ノミニ處スヘキコトヲ定メタルトキト雖モ其ノ地方違警罪目ハ何等ノ効力ヲモ有スルモノニ非ス其ノ理由タル刑法第四百三十條ハ刑法ニ規定シタル以外ノ事項ニ關スル地方違警罪ノミニ認ムルニ過キス又地方違警罪刑ニシテ刑法ト輕重ノ差違アルトキハ現ニ刑法ノ規定ヲ破ルモノタルヘク又其範圍内ニ於テ別ニ刑罰ヲ定メ又ハ勾留ノミニ處シ若クハ科料ノミニ科スルコトヲ規定シタルトキハ刑法ノ定メタル刑ノ範圍内ニ於テハ裁判官ノ思料ニ從ヒ自由ニ刑罰ノ適用ヲ爲スコトヲ得ヘキ裁判官ノ權力ヲ減縮シ行政權ニ依テ司法權ヲ拘束スルモノトナレハナリ

(第四法律ノ默諾ニ依リ地方ニ於テ制定スルコトヲ得ヘキ違警罪ハ必ス右ノ如ク法律若クハ刑法ニ於テ既ニ定メタル以外ノ事項ニ屬スルコトヲ要シ若シ地方違警罪ヲ以テ同一事ニ付キ法律ト同一ノ規定ヲ爲シ又ハ之ト輕重ノ差異アル刑罰ヲ規定シタルトキハ法官ハ常ニ法律ヲ適用スヘキモノニシテ地方ノ達令ヲ適用スルコトアルヘカラス例ヘハ地方ニ於テ第四百二十八條第五項ノ劇場規則ヲ設ケ同條ト同一ノ刑ニ處シ又ハ之ト異ナリタル一種ノ刑ニ處スヘキ

コトヲ規定スルモ其ノ制裁ハ第四百二十八條ノ制裁タルニ止マリ地方達令ノ制裁ニ非ス然レトモ地方官署ニシテ一ノ規則ヲ設定シタルニ其ノ制裁ニシテ既ニ刑法ニ明定シタルモノナルトキハ其ノ規則ハ刑法ノ制裁アルヘキコトヲ明解スルコトヲ妨ケス地方達令ノ末ニ於テ此ノ規則ニ違背シタルモノハ刑法第何條ニ由リ所罰セラレヘシトノ一條ヲ設クルハ吾人ノ往々見ル所ニシテ斯ノ如キ注意ハ頗ル無用ニ屬スルカ如シト雖モ亦大ニ緊要ノ關係ヲ及ホスモノアリ例ヘハ地方ニ於テ健康ヲ保護スル爲メ數十條ノ規則ヲ規定シタルコトアリトセンニ或ハ其ノ條中眞ニ健康ヲ保護スルニ必要ナラサルモノアルヘク或ハ全ク他ノ關係ヨリ其ノ規則中ニ包含セシメタルモノアルヘシテ地方廳ハ尙ホ是等ノ條ニ就テモ其ノ違反者ハ刑法第四百二十六條第四項ノ刑ニ處セラルヘキコトヲ規定シタルトキハ地方廳ハ是等ノ條ヲ以テ事實上健康ヲ保護スルニ必要ナル規則ト認定セルヤ明カナリ然ルニ法官ニシテ之ヲ行政上ニ必要ナラストシテ以テ其ノ効力ナキモノトスルコトアラハ是レ實ニ司法權ヲシテ行政權ヲ蹂躪セシムルノ端緒ヲ啓クモノト云ハサルヲ得ス又其ノ規則ノ果

W326.01
E32

シテ健康ヲ保護スルニ必要ナルモノナリヤ否ヤノ事實ヲ決定スルハ地方官廳ノ權内ニ在リ上等ノ行政官署ヨリ其ノ規則ノ取消ヲ命令スルニ非サル以上ハ法官ハ決シテ其ノ事實ヲ争フコトヲ得ス畢竟スルニ行政上ノ必要アルト否ラサルトハ行政官ノ判定ニ一任スヘキモノニシテ他ニ亦之ヲ決スルモノナカルヘシ

刑法(各論ノ部)終

3969-1

最高裁判所図書館



000129237

